

## 第37期(第3回)社会教育委員会議 次第

日時：令和5年9月16日

書面開催

### 議事・報告事項

- (1) 第37期第2回議事録(要旨)の確認について
- (2) 令和5年度社会教育関係団体への補助金交付について
- (3) 令和5年度 各社会教育事業に関する事業報告
- (4) 社会教育委員一名の解嘱・委嘱について

学ぶ・活かす・つながる  
～そして、明日の神戸～



生涯学習のマスコット  
「マナビィ」

(1) 第37 期第 2 回議事録（要旨）の確認について

## **第37期(第2回)神戸市社会教育委員会議事録(要旨)**

- 1 日 時 令和5年2月20日(月) 14:00~15:30
- 2 場 所 神戸市総合教育センター7階 会議室701号室
- 3 出席者 (1) 社会教育委員8名  
(2) 事務局  
東課長(教育委員会事務局総務課)、  
前田課長(文化財課)、赤澤課長(スポーツ企画課)、  
村井担当課長(中央図書館)他

### **4 議事・報告事項**

(事務局) 会議開始前に、配布の委員名簿に基づき委員1名の役職名更新について説明。

#### **(1) 第37期第1回議事録(要旨)の確認について**

(議長) 前回会議の議事録について、御意見や御質問はあるか。

(委員) 特になし。

(議長) 前回議事録で記録されているとおり、各社会教育委員が、社会教育をどういうものとして捉えているか等について対話する機会を持ちつつ、議論を進めていきたい。では、各課の事業報告に移る。

#### **(2) 令和4年度各社会教育事業に関する事業報告**

##### **①文化スポーツ局文化財課事業報告について**

(事務局) 秋季展『元素でたどる考古学』について、終了後の評価としては、化学的な分野の展覧会となったため「埋蔵文化財というジャンルから見ると、少し専門性が高かった」や、「もう少し青少年科学館のような施設と連携した方が良かったのではないか」といった御意見をいただいた。今後こうした企画を行う際には、歴史系のみならず、学校関係者や青少年科学館等の施設とより連携を強めるべきだと感じた。

「体験講座」の『茅葺職人さんと竪穴住居を建てよう』では、逆に伝統的な考古学関係のイベントとして、住居の骨組みを文化財課の職員で作成し、参加した親子にその上にわらの屋根をかけるという体験をしていただいた。親と子が一体になって制作活動に取り組むことで、完成の際には非常に喜んでいただけた。連続講座『こうべ考古学』は、参加人数にコロナの影響が見られたものの、一定程度の参加者数を維持して継続することができている。

トライやるウィークも開催しており、中学校2年生を中心に、12校から23名の参加があった。11月は「文化財保護強調月間」であるため、毎年文化財関係のイベントが集中する時期となるが、特におおとしやま祭りでは、例年600~700人程度の参加者のところ、1,000名以上のご参加があり、予想を上回る反響をいただいた。

土器づくり教室等については、大学や「こども本の森」等と連携を強めていこうとしており、例えば公民館での勾玉づくりなど、文化スポーツ局とともに様々実施している状況である。関連事業として、12月に開催したマリンバコンサートがある。本イベントはコロナ禍における芸術家の発表の場を確保するという意味合いがあるもので、文化交流課の補助金交付を受けた芸術家・音楽家の方々が無償でコンサートを開催した。令和5年度も実施する見込みと

ということで、引き続き文化財課も協力していきたい。

次に、現在埋蔵文化財センターにて開催中の冬季展『神戸・うつりかわる町とくらし3』について御報告する。小学校教科書の内容変更に伴い企画展の内容も「うつりかわるまち」として、例えば『かつては市電が走っていたが現在はない』等、資料の展示を変更している。この展覧会では、展示品のみでなく写真パネルなども使いながら、子供にとって分かりやすいよう工夫しており、土日には家族連れの方に多く見学いただいている。来場者数等については、終了後改めてご報告する。

(議長) 今の報告について、何か御意見、御質問はあるか。

(委員) 青少年科学館との連携の話が出たが、社会教育関連施設で分野をまたいで、神戸市としてどのような取組をしていくかについて教えて欲しい。

(事務局) まずは文化スポーツ局の局内で、例えば文化ホールの行事の中で土器や勾玉作りの機会を設ける等、連携を開始しているところである。図書館とはこれまでも連携があったが、新たに「神戸子ども本の森」が完成したことで、3月25日には連携事業として1周年イベントを実施する予定である。

今後、特に子供が関係する事業を持つ部局と、様々なイベントで連携していきたい。

(議長) 今の御質問については、文化財課のみならず他の部局の見解も改めて伺ってみたい。他に御意見等あるか。

(委員) 特になし。

## ②博物館学芸課事業報告について

(事務局) 令和4年度に市立博物館、小磯記念美術館、神戸ゆかりの美術館でそれぞれ開催した特別展について、会期と入館者数を掲載している。博物館の「インド独立75周年・日印国交樹立70周年インド近代絵画の精華」と、神戸ゆかりの美術館の「第9回日展神戸展」は現在も開催中である。

(議長) ではこの件について、御質問・御意見はあるか。

(委員) 特になし。

## ③文化スポーツ局スポーツ企画課事業報告について

(事務局) 「公民館アンケート」の結果を御報告する。令和4年度公民館アンケートは、2022年夏～秋頃にかけて実施し、全公民館で約900人にご回答いただいた。利用者の居住地としては、各館とも地元の利用が多いが、特に清風・長田・南須磨では立地上、他の区からの利用も見られた。特に清風公民館は地元以外の方の利用が半分程度を占めている。利用者の性別は例年通り女性の利用が多いが、長田等で男性の利用が若干増えてきている。

年齢としてはやはり高齢者の利用が多いものの、長田・玉津南等では若い世代の利用が増えてきている。公民館への交通手段は、立地条件による各館の特徴が表れており、徒歩で来館する方が多いのが住之江と東垂水、自転車利用が多いのが葺合・長田・玉津南で、電車利用が多いのが清風・南須磨となっていた。自動車利用が増加している公民館も見られる。利用頻度についての設問では、公民館はリピーターが多い傾向があり、月2～3回以上利用する方が4～6割程度を占めていることが分かった。

設問⑥「清潔感」から⑩「全体的な満足度」については、概ね満足いただいているが、設備

や備品に関しては少し不満であるとする割合が、他の項目に比べて高くなっていた。今年度も住之江公民館で空調工事等を実施するとともに、老朽化している備品については買い替えを進めており、環境改善を図っているところである。

職員の対応についても概ね良好なご意見をいただいているが、一部ご指摘をいただいている館もあるため、御意見は館内で共有し、今後も親切・丁寧な対応に努めていきたい。受講料・使用料については9割以上の利用者から満足というご回答を頂いている。

続いて「公民館全体の満足度」、「公民館で行った講座・講演会の満足度」、そして貸館利用者の公民館における講座の認知度についてまとめている。

自由記入欄に記載いただいたご意見は全部で69件あり、内25件は肯定的な意見として、職員や館内の環境に対して感謝や労いのお言葉をいただいだ。設備・備品に対する要望は21件あり、卓球・バレーボール・バドミントンのネット等について、老朽化しているという指摘だった。それ以外の要望は11件で、使用料の減額やスマホ講座の開催についての要望等だった。公民館は1日当たりの利用枠を増やすため、令和4年8月に使用時間帯を変更し、1日の利用可能枠が4つまでだったところを5枠にした。このことについて、御意見が6件あり、「時間帯を元に戻してほしい」、「以前より制約が多くなった」等のお声をいただいた。令和5年の春には、全市施設の貸館システム「あじさいネット」に公民館も加わる。これまで以上に利便性が向上する見込みであり、利用可能枠の増加も、より多くの市民にご利用いただくための改正であるということ、引き続き説明して参りたい。

次に、講座・講演会の満足度調査では、全部で195の記載をいただいたが、「受講してよかった」という回答が94%を占めた。不満とする意見は2%で、講師や内容についてのものや、講座開催中の雰囲気についてのものだった。講師選定や内容についての打合せ等を今後もしっかりと行い、新しい講座に関する要望を活かし、高い満足度を得られるようにしていきたい。講座認知度に関する調査は、公民館を貸館利用された団体に対して行ったもので、公民館で実施している講座を「受講したことがある」が17%、「講座をしていることは知っているが、受講したことはない」が49%、「知らなかった」が27%となった。この設問は昨年度から設けたものであるが、昨年ほとんどの方が「知っている」という回答だったのに対し、今年度は約3割の方が「知らなかった」という結果になった。一方で、「受講したことがある」という回答は、昨年は5%に留まっていたが、今年は17%へ増加した。今後開催を期待する講座としては、資格取得のためのものや、健康増進に繋がるようなものを希望する声が寄せられている。

今回の結果については、今後の講座内容選定に役立てるとともに、講座の開催について館内での掲示を行う等更なる工夫を凝らし、認知度の向上に努めていく。また、貸館(体育館等)の利用者は比較的年齢層が若い傾向があるため、年代も意識しながら、効果的な訴求を行っていく。

(議長) 今の公民館アンケートの結果について、御意見や御質問等あるか。

(委員) アンケートを実施した場合、「時間帯を増やしてほしい」や「駐車場を増やしてほしい」、空調も効かないより「効いたほうが良い」と、要望は様々出てくるものだと思う。

そういった要望に対しては当然、公民館として対応が可能なことと難しいことがあり、また受益者負担とするのかそうでないのか等の線引きを検討する必要もあるだろう。神戸市の指定管理者制度を導入した体育館のように、朝の7時から夜の11時までオープンして若年層にも対応するとなると、運営側の負担も相当なものになると思われる。どちらが良い・悪いで

なく、どのあたりの層を狙っていくのか戦略的なものを持っていないと、利用者の要望に応えることばかり追求すると、運営自体が困難になるのではと感じる。

(委員) アンケート結果を見ると非常に満足度が高く、公民館が努力していることが分かる。

一方で、公民館の社会教育施設としての役割は、時代や社会状況にあわせて変化していくものだとも考えている。時代や社会状況に即した講座の中身となっているか、運営が行われているか等について、社会教育委員会議の中で検討したい。

しかし、このアンケート報告だけではその点が見えてこないため、今どんな講座を、どんな意図で行われているかについて、改めて別の形で見せていただきたい。そして、公民館の講座の中身や貸館、登録グループのこと等について、このままで良いのか変えていった方が良いのか、議論する機会としたい。

(事務局) 公民館でどういった講座を行っているか等については、次回会議にて資料提出する。

開催講座の一例でいうと、SDGsという言葉が最近よく聞くようになったと思うが、公民館では早くからSDGsに関する啓発講座を実施してきた。また、同様に最近よく聞く「デジタルデバインド」についても、高齢者の方を対象にスマホの使い方教室等を実施してきた。春と秋に定例的な講座を実施しているため、その資料は次回ご確認いただく。

(委員) 公民館のSDGsに関する講座について、最終目標の2030年が迫る中、今までどおりの内容で実施していて良いのか、という観点は必要である。社会教育委員会議は、一例であるSDGs以外にも、社会状況を見たときに公民館で行うべき事柄を論議する場にしていきたいと考える。

(議長) 今回のアンケートは、利用者の満足度調査という趣旨で、ある意味割り切って利用者に伺っているものと思う。一方で、公民館は一体何を目的にしているところなのかという目的と、利用者が何を感じているのかといった観点から回答を読み解くような、つまり、「公民館だからこういった調査をしている」という特殊性については、議論しなくても良いのだろうか。つまり、例えば市民センターで今回の公民館アンケートと同じ調査を行っても、同じような結果が出るのではないか。公民館の特殊性、つまり公民館はどういった意味で社会教育施設なのかという点について、議論するような機会を設けることができないか。

(事務局) 神戸市の公民館は、教育委員会から文化スポーツ局へ移管されており、他都市の社会教育施設等と同じように議論することが難しい状況にあるが、社会教育委員会議でそうした点も議論をする機会を設けていきたい。

(委員) 昨年のアンケート結果報告の際、若年層の利用者が増えたという話を聞いた。今年の結果では、葺合公民館は10代以下が減少しているが理由は何か。また、アンケートに上がっているもの以外で、若年層の利用者を増やすために行っている取組があれば教えて欲しい。

(事務局) 葺合公民館は、隣接するグラウンドの利用者として若年層が多く、前年比で見ると数が減少しているものの、他の施設と比較すると環境上若年層の利用が多い公民館である。

他の公民館についても前年比では若年層が増加しており、各館に理由を確認したところ、例えば玉津では親子で参加できる講座の数を増やしたといったことがあった。講座内容を工夫した効果が表れてきているのではないかと考えている。

(議長) 性別と年齢で調査を行い、利用者として女性や中高年が多いことが分かり、男性や若年層の利用も増やしたいという方向性はあり得ると思うが、どういった人たちに学んで欲しいと考えているのか教えていただきたい。つまり、地域住民の人口の多様性が、公民館で学ぶ人たちの多様性に直結している状況が望ましいと考えるのであれば、調査をするのは年齢と性別だけで良いのだろうか、ということである。

(事務局) 神戸市の公民館は全部で7つのため、各館どこまでの範囲の人たちをターゲットとして運営していくのかについては、難しいところである。例えば姫路市のように、公民館の数が多くある場合、より小さい単位の地域住民を意識して「この方たちに使っていただくためにはどうしていくか」という方向性が定められるものだが、神戸市は9区に対し7館となっているため、どのように運営を推し進めるべきかは常に課題であり、今後も検討していきたい。

#### ④文化スポーツ局中央図書館事業報告について

(事務局) 今回は「令和4年度読書週間行事報告」ということで、コロナの影響があった中で、どのように取組を行ったのかご説明する。まず、「おはなし会」は発声を伴う行事であるが、一方で図書館は静かに過ごす場でもあるため、どうしても空間を閉めきる状況となる。そのため、複数回に分けて人数制限をかけ、少人数で開催する等して「読書週間行事」を実施した。

「講演会と講習会など」としては、北神図書館の「マインクラフトでSDGsを考えよう」をご説明する。こちらの終了後にアンケートを取ったところ、参加者24人全員から「楽しかった」と回答をいただき、更にその内20人が「SDGsについて大変興味を持った」ということで、大変有意義な会だったと手ごたえを感じている。一方で、問題点としては参加対象を小学校3年生以上に設定していたが、既に学校でSDGsの授業を受けてマインクラフトを体験済みの5～6年生児童の参加が、想定より少なかったということだった。今回実施した内容であれば、1～2年生児童でも参加して理解できる内容だったため、今後は参加者の対象や内容について、より検討したいと考えている。

(委員) 先ほど、引き続きコロナの影響が見られたという話があったが、今回報告の内容は全て対面で実施されたという理解でよろしいか。

(事務局) そのとおりである。

(委員) 一つ確認したいのが、コロナ禍当初は、対面開催の代替措置としてオンライン開催を実施したものがあつたと聞いている。そこで、参加者がオンラインだからこそ参加可能となったプログラムがあつたのではないか。そうした点について図書館側で検討、あるいは市民の方々から要望はあつたのか。

(事務局) 「おはなし会」等は対面方式に戻ってからある程度の人数は集まったと感じているが、やはりまだ人前に出ることに抵抗があったり、感染の恐れを抱いていたりする方はいらっしゃる。ただ、神戸市立図書館の中には通信環境がそれほど充実していないところもあり、現状、オンラインを拡大していこうという段階にはない。ただし今後、オンラインで実施可能な講演会等も検討していければと考えている。

(委員) オンラインで「おはなし会」を開催する場合、絵本の著作権はどのようになっているか。

(事務局) 著作権の問題は難しいところである。例えば電子図書館を使っておはなし会をする等の取組みは、神戸市ではまだ実施していないものの他都市では行っているところがあり、著作権の問題もクリアしているのではないか。神戸市でもそうした取組みができればと考えている。

(委員) 承知した。

#### ⑤その他

(議長) それでは、以上で各課の報告については終了となる。ここまでのところで、御質問、御意見

があればお願いしたい。

(委員) 社会教育委員会議の場で議論する内容に関して、社会教育施設が教育委員会から文化スポーツ局に移管されて以降、議論できる項目が減少しているように感じる。

各課からの報告内容について、社会教育委員会議で検討できるものなのか、そして社会教育委員として事業自体検討する余地があるものなのか、分かりかねている。

例えば、神戸市の公民館は7つしかないが、公民館と児童館が併設されているところはあるという話の際、児童館は必ず地区毎に設置されているため、児童館と連携して公民館事業を行うことはできないのか等考えていたのだが、それは同じ神戸市の施設でも、管轄の問題でできないのだろうか。また、社会教育委員がどこまでを議論・検討することが可能なのか、といったところについて、教えて欲しい。

(事務局) ご指摘のとおり、数年前の法改正に基づき、従来教育委員会が所管していた社会教育施設については、全て文化スポーツ局に移管している。ただし、教育委員会から移管しても、社会教育のための施設であることに変わりはなく、当然この社会教育委員会議にて議論されるものと考えている。

(委員) 社会教育施設が移管される際にもこうした議論があったが、各社会教育施設の取組についての報告を受けて議論するだけに留まるのが社会教育委員会議なのかという点については、考えなければならない。

(事務局) 社会教育委員会議では、社会教育施設に限らず、例えばコミュニティスクールに関してなど、様々な現在の取組についても御報告しているが、今後の神戸市の社会教育といったテーマもこの会議においてご議論いただく内容だと考えている。

(議長) 今後、委員から発題するような、例えば議題を1つ提案し、神戸市の社会教育は一体何をしていくべきかと本質的な話をするような機会を設けられたらと考えている。では、他にここまでについて全体的な御質問や御意見はあるか。

(委員) 特になし。

(議長) では、次の「こうべっ子読書活動推進プログラムの検証」に移る。

### **(3) こうべっ子読書活動推進プログラムの検証について**

(事務局) 委員の皆様には、事前に取組検証のデータをお送りしていたが、中央図書館該当箇所については本日御説明する。

大項目4の1「家庭における読書活動推進の取組」では、中項目で「読書へのきっかけづくり」、更にその中で「子育て支援センターと図書館の連携により、保護者向け講座を充実」させることを設定している。児童館や子育て支援センターで開催しているものについては、施設を利用していない市民や子供の読書に関心の薄い保護者へのアプローチの方法が課題と捉えている。参加いただいている方には次回の開催についてのPRが可能だが、今後、そうでない方への周知の方法を検討する必要がある。

「読み聞かせボランティアと協働して、乳幼児を対象としたおはなし会を開催」というものについては、課題としてボランティアの確保や日程調整等が難しいという点がある。ボランティアの方が高齢化しているが、若い方は仕事が忙しく参入が困難な状況のため、今後も粘り強くボランティアの養成をしていきたい。

大項目4「市立図書館における読書活動推進の取組」では、取組内容として「子供の興味・

関心を広げる図書、学習に対応した幅広い図書の収集」という項目があるが、課題としては書架の容量が決まっているため、新たな本を購入する際には、除架を行わなければならないということがある。つまり、魅力的かつ新鮮で、子供が必要とする本が揃った書架を保つためには、専門的な知識と選書眼が重要となってくるということである。「長く読み継がれ、定評のある図書の提供」という項目についても、そうした専門性が重要となる。新しい本や話題性のある本には子供たちがぱっと飛びついて借りてくれるが、長い間読み継がれてきた本も必要であるため、バランス良く充実させた図書館にするために、専門の知識を活かして取り組んでまいりたい。

「障害等に応じた図書の整理」というところでは、ユニバーサル図書コーナーの利用状況、ニーズの把握、PRが課題となっている。

「乳幼児と保護者向けサービス」については、ホームページの活用等、乳幼児の保護者への読書活動推進の啓発方法を検討する必要があるということで、実際、ホームページが魅力的になり切れてないこと、見づらいことがあり、今後より良いホームページへと変更していかなければならないと感じている。

中項目として設けている「特別な配慮が必要な子供たちへの支援」については、電子図書館の更なるPRが必要であり、子供が使えるような電子図書館、児童書等がまだあまり整備されていない。今後その点の充実を図り、PRしていきたい。「ICT社会における子供たちの読書、情報活動の支援」についても同様で、現在所蔵が少ないことにより利用が伸びていない実態があるため、来年度以降も購入点数を増やし、利用を促進していきたい。

「紙の本とデジタル情報の相互利用による読書推進」については、ほとんどのコンテンツに貸出回数や利用年限を設けており、今後も継続的に維持するために買い直しをしつつ進めてまいりたい。

(議長) 引き続き、大項目5「こども本の森」について説明をお願いします。

(事務局) この施設は、阪神淡路大震災の慰霊と復興のモニュメントがある東遊園地の南エリアに開設した施設である。図書館法上の図書館とは異なるが、子供たちに良質で多様な本を提供し、その感性と想像力を育むことで、命の大切さと震災の教訓を継承していく目的で設置した文化施設である。

設置に至った経緯として、令和3年9月に建築家の安藤忠雄氏より、東遊園地に「こども本の森 神戸」を寄附したいという申し出を頂いたことに端を発している。

その後、具体的な調整を進め、令和4年3月25日に開館に至ったもので、現在指定管理者制度を導入し、図書館流通センターを代表とする共同企業体に運営を任せている。

現在は、コロナ対策等も踏まえ抽選方式による予約制を採用し、一定程度来館者数の抑制を図りながら、運営を行っている。

運営費用の約4分の1程度、年間1,000万円程度は寄附金により充当する目標を掲げ、企業版、または個人版のふるさと納税を活用し、幅広く寄附を募り運営を行っている。

予約及び来館の状況としては、土日祝や学校の長期休暇の時期にはほぼ予約が埋まるような状況であった。利用者の約80%が30～40代の親子連れとなっている。

また通常の利用のほかに、令和4年6月から主に幼稚園、保育園、小学校を中心とした団体の受入れ等も開始している。

その他、様々なイベントも定期的で開催しており、先月(1月)には名誉館長である竹下景

子さんによる朗読会等も実施した。また埋蔵文化財センターとコラボし、「土器を触ってみよう」というイベントも、実施した。

寄附金、寄贈図書について、運営の一部を寄附金により賄うというご説明をしたが、これまで、ふるさと納税や企業からの御寄附により、約2億円程度集めている。また、令和3年7～8月にかけて、本の寄贈募集もっており、全体2万5,000冊の蔵書のうち、約5,000冊が寄贈によるものとなっている。

今後の展望であるが、やはり末永く市民の皆様、また子供たちに愛される施設として持続的に運営する必要があるため、引き続き安定した寄附金を確保していく必要がある。そのためにも更なる図書を充実させるとともに、魅力的なイベントを実施し、来館者の増加につなげていく。そして更に御支援をいただくという好循環を実現していきたいと考えている。

(議長) それでは、社会教育委員より事前提出していただいた質問や意見について、事務局から説明いただく。

(事務局) ①「今年度からプラザがなくなっているが、同様の役割を担う地域子育て相談ルームとの連携を行っているのか」という御質問と、

②「地域支援の拠点となる「おやこふらっとひろば」との連携事業は行っているのか」という御質問について、それぞれ別の所管から回答を得ているが、合わせて回答させていただく。背景を補足すると、ご質問の「プラザ」とは地域子育て応援プラザと称していたもので、神戸市地域子育て支援センターが行っていたものだが、令和3年度を以て事業が終了している。プラザが行っていた子育て事業については、新たに始まった「親子ふらっと広場」に基本的に引き継がれている。また、地域子育て相談グループを主に拠点となる保育所に設置し、個別少人数のサポートに特化して、地域サークルの巡回や電話相談などを行うという事業を、再構築した形になっている。

事業見直しの結果の体制として、従来プラザで実施していた子育て広場事業の中での図書館連携に関しては継続することが難しくなり、令和4年度は兵庫区、長田区で少し形を変えて実施しているものの、令和5年度以降は廃止を含めて検討するという状況となっている。

ただし、②の回答に掲載のとおり、親子ふらっと広場においては図書館司書による絵本読み聞かせのプログラムや、中央区ではこども本の森と連携したプログラムを実施しており、引き続き乳幼児が本に親しむことができるような取組は行っていくということで回答を得ている。

次に、御質問③「SNS 発信として、若い世代の利用が多いインスタ（神戸ママフレ部）との協働の可能性はあるか。特に電子図書はタブレット使用の多い世代には効果的だと思う」と⑤「保育所や幼稚園との連携は公立のみのようだが、私立との連携はしていないのか。私立でも単独で取り組んでいる園もあるとは思いますが、アプローチをした方が良いように思う」について、ご説明する。

③について、現在ママフレのページには市立図書館の御案内と行事案内へ飛ぶ2つのリンクを貼っている。電子図書については、子育て中の方にもぜひ御利用いただきたく、Instagramから電子図書館をPRできるようにしたいと考えている。また、電子書籍の充実を図るため、今年度「読み放題パック」というものを更新している。

⑤については、図書館では司書が選んだ新しい絵本のセットを、希望する市立・私立の幼稚園に巡回利用いただく「幼稚園巡回図書貸出サービス事業」を実施している。令和4年度は

29の市立幼稚園と12の私立幼稚園に御利用いただいた。これは市立、私立を問わず募集案内を行っており、私立の幼稚園については私立幼稚園連名の定例園長会にて御案内している。続いて、④の「やったあ、読書の日」に関する御意見について、小学校では現在、反復学習や復習を中心とする宿題から、子供が自ら何を学ぶか考え、自分で決めて取り組むという宿題へ方向転換を図ろうとしており、週に1回程度こうした取組をしている学校がある。その中で、読書を宿題として取り組む子供がいるということである。

長期休暇等には教師から普段読まないような本を読むこと推奨しているが、感想を書くことを必須とするとかえって読書が重荷になってしまう可能性もあり、どういった方法でのフィードバックが良いのか、また、友達とどんな本を読んだか情報交換できるような取組はどういったものがあるのか、各学校に応じた仕組み作りを考えていかなければならない。事前にいただいた御質問に対する回答としては、以上である。

(議長) 御質問、御意見はあるか。

(委員) ⑤の回答について、認定こども園や保育園、保育所等には特別なアプローチを取り入れているのか。

(事務局) 現状、幼稚園のみを対象としており、保育園についてはこれからである。どのようなアプローチがあるか、検討する。

(委員) 巡回図書用として毎年1,000冊程用意しているとのことだが、その予算は通常の図書購入とは別途予算として持っているのだろうか。つまり、予算が別途設けられているのでない場合、図書館の負担になっているのではなかろうか。

(事務局) 巡回図書用に別途の予算があるわけではなく、通常の資料費の中でやりくりしている。

(委員) 巡回図書は図書館側としても苦肉の策だと思うが、非常に有効なプログラムである。小学校以上については、学校図書館法で定められている図書館のため、様々な予算措置がされるが、就学前の施設についてはそういった措置がなく、幼稚園でも施設により整備状況は大きく異なる。そういった意味でも、巡回図書は非常に重要だと考える。可能であれば、こうした重要性を鑑みて、別途予算措置が講じられないか検討していただきたい。

(議長) 学童保育などにも本が回ってくると良いと感じる。他に御意見はあるか。

(委員) 現在、特別な配慮が必要な子供たちの支援というのが非常に増えており、障害や不登校、ヤングケアラーと、様々な方向から子供たちへのケアが必要となっている。以前、学校図書館司書に「この本は蔵書可能か」と確認したとき、学校の図書館は児童生徒を対象としているため、どうしても幅広い本を揃えることが難しいということだった。ただ、様々なことに悩んでいるのは子供たちだけでなく、保護者も同様である。学校図書館も幅広く図書の充実を図るとともに、悩みを持つ保護者同士が話をできるような場も設けられたらと思う。

こうした取組は、学校側でも、スクールカウンセラーを通して不登校傾向の子どもを持つ保護者が集まる場を作る等、いろいろと考え実施しているが、ぜひ図書の方でも学校現場と繋がり、取組を展開してもらえたらと考える。また、先程の回答の中で「自分学習」に関わる話があったが、これは実際各校で様々な取組が行われているところである。学年によって頻度は異なるものの、子供たちは自分が興味を持ったことについてとことん追求するという内容になるが、対象がなかなか見つからない子供たちもいる。そうしたとき、友達が「こんなこと調べた」「こんな本を読んだ」ということが分かるように展示することは、自分の興味

関心を見つけるための一つの有効な手立てである。そして、自分学習に関する本というのはただ読書するだけでなく、何かを調べるための「図鑑」等、様々な種類の図書が必要となる。そうしたときに、保護者が子供を図書館に連れていくこともあるため、学校ではこうした自分学習をしていると図書館側に伝えていただければ、そうしたコーナーを作っていただくことも可能かもしれない。

- (委員) 自分自身、兵庫区役所にお手伝いに行き、チームで読み聞かせをする活動を行っている。一部の保護者はこのような行事に非常に熱心に子供を連れてきてくれるが、こうした場に全く来ない親子に対するアプローチはどのようにしたらいいのか、難しいところである。また、親子ふらっと広場にもあまり本の種類がなく、保育士が選書して本日はこれを読みましょと持ってこられるようなこともある状況。ふらっと広場にも本の行き来ができるような取組をしていただけると、若い保護者にも子供への読み聞かせを意識づけられるのではないかと。
- (議長) そうした場合、新刊本である必要はないように思う。システム上、何か問題があるだろうか。
- (委員) 新刊本もあれば良いが、そもそも本のバラエティがない状況のため、きれいな状態であれば寄贈図書でも良いように思う。
- (議長) 金銭的な問題よりも、システムの問題のように思う。

- (委員) 先日、小学校の学校運営協議会に出席した。そこは外国籍の子供が多い学校で、実際のところ2割を外国籍の子供が占め、国際学級では日本に来たばかりの子供に日本語指導をしている。その国際学級で日本語指導を受けている間は、当然ほかの教科の授業は受けることができず、その点については全く対策が取れていないという課題があった。そこで、英語や様々な外国の言葉の書物や教科書を役立てられないかという話が出た。

学校のカリキュラムの中では、やはり制約もある中で難しいため、例えば地域で、学校と連携をしながら外国籍の子どもの宿題を解決する等の教室を開くことができれば良いという話だ。しかしそういったことを行うにも、まずは理科や社会等の科目について、他言語の教材がなければならない。多文化共生社会では、そういった視点も必要ではないか。

- (議長) 外国籍の児童生徒が勉強しようと思ったときに、教材がないという問題をどのように学校現場で解消するかということも含めての問題提起である。今回報告された図書館の取組としてカバーできる範囲がどこまでかという点も含め、理解を深めていきたい。
- (委員) 「特別な配慮が必要な子供たちへの充実」の1つ目の項目でも、日本語を第一言語としない子供への支援として「読み継がれてきた名作絵本を中心に、英語・中国語・韓国語の図書の収集を強化」と掲載されている。

ここで質問だが、英語、中国語、韓国語という3つの言語を選んで掲載している理由はこういったものか。例えば神戸市には、これらの言葉を第一言語とする外国籍児童が多いからか、何かそういうリクエストがあったからだとか、教えていただきたい。

- (事務局) ご指摘のとおり、神戸市にこれらの言語を第一言語とする外国籍児童が多いからである。なお、ブラジル語やポルトガル語を第一言語とする方も多く居住されているが、日本で入手することができる本の出版点数が少ないという状況がある。

- (委員) 例えば、外国籍児童が多い小学校と情報交流等の機会はあるのだろうか。

- (事務局) 現状はない。ただ、現在図書館として問題意識を持っているのが、ウクライナから避難されてきた方々へのサービス展開である。ウクライナ語やロシア語の本も、日本で入手可能な出版点数が限られているが、簡単な英語であれば代替可能ではないかと考え、国際協力センタ

ーと連携し、取組を開始しようとしている。

- (委員) 図書館と様々なところで連携して、学校現場にもフィードバックしていただきたい。
- (議長) 神戸市図書館のサービスは歴史的に有名で専門性も高いと認識しているが、学校司書の研修については、子供対象の図書となると、また別の規制があつたりするのではないか。司書の研修機会や資質向上のために行われているのは具体的にどういった内容か。また、司書の専門性は今でも十分確保されているものなのだろうか。
- (事務局) 学校司書については、選考の段階で一定程度の司書経験、あるいは司書教諭の資格を所持している者、または我々が実施している学校図書館入門講座を修了した者という一定程度の条件を満たした人材に限られている。研修に関しては、新規採用後学校へ配属される前の6～7日程度の研修や、配属後も採用の年次別や地域別に研修を行うなどしており、少なくとも年間20日以上は研修を受講している状況である。研修対象者も配属年数や経験に差があるため、今後はよりそれぞれのニーズに合った研修を充実させていきたい。現在「授業支援」について、どのように学校図書館を授業に役立てていくか、また、司書はどういった支援をすれば良いかという点について、最も力を入れて取り組んでいる。
- (議長) 神戸市立図書館の専門性はどうか。
- (事務局) 中央図書館の3階には調査・相談ラインがあり、例えば子供の本に関する問い合わせに対して、通常は児童担当が回答するが、専門的な質問の場合は調査・相談ラインで回答する。調査・相談業務は相当の専門性が必要となり、配属されたら5年程度在籍し、経験を積んで専門知識を蓄えるようなシステムになっている。
- (議長) 神戸市では専門性にかかる育成制度が受け継がれているということだと思う。
- (委員) 司書教諭について、項目としては掲載されているが成果に関する記載がなく、実際に司書教諭の成果としてはどういったものがあつたか教えて欲しい。
- (事務局) 司書教諭の先生方は非常に忙しいが、学校司書・司書教諭向けの研修会や、学校司書と司書教諭との合同研修等も実施している。特に、授業支援については学校司書と司書教諭が共同して取り組んでいくものとして、全市の小中学校の先生方に共有し広げていくという形で行っている。その成果として、実際に授業で学校図書館を使う事例も徐々に増えてきている。
- (委員) 要は学校司書のできることでできないことがあるので、当然司書教諭の方と連携しながら取組を進めていくという話だと思う。この点についても、今後は検証資料に掲載して報告していただければと思う。

#### (4) その他

- (委員) 社会教育委員会会議は、現在年間3回で実施しているが、例えば、定例で2月は「次の年度の全体方針」等にして、それ以外は今回のようなアンケートについてはあまり取り上げず、枠組みのようなことを協議したほうが、議論の焦点を絞りやすいのではないか。根拠法令は、社会教育法であるため、学校教育との線引きが難しく、本日もそうだが、相当数が学校現場の話題にもなってくる。しかし、社会教育をどのように捉えるかということ自体があまりにも幅広すぎるものであり、年3回の会議の中で、どのように組み立てるのかということがもう少し明確にある方が良いのではないか。
- (事務局) 社会教育委員会会議について、あり方、進め方、取り上げる議題についても、様々な御意見をいただいた。こうした点についてはまた改めて整理する。

(2) 令和5年度社会教育関係団体への補助金交付について

## 令和5年度 社会教育関係団体補助金交付について

(社会教育法第13条関連)

	神戸市PTA協議会	神戸市婦人団体協議会
会 員 数	約30,000人	約25,000人
補 助 金 予 算 額	300,000円	555,000円
神戸市社会教育関係団体補助金交付要綱第2条関係	実施事業	
(1) 図書、記録、視聴覚教育の資料等収集、作成または提供	・ 専門委員会報告書	・ 神戸市婦人団体協議会活動報告書「1年のあゆみ」
(2) 社会教育の普及、向上または奨励のための援助、助言	・ 役員研修会 ・ 毎月の定例会長副会長会 ・ 年間4回以上 理事会 ・ 全校種合同研修会	・ 会長研修会、区中堅幹部研修会 ・ 毎月の定例会、単位婦人会連絡会研修 ・ 婦人市政懇談会(市共催) ・ 神戸県政ミーティング(県共催) ・ ふれまち事業 ・ エコタウン活動(資源回収・広報)、美緑花ボランティア活動(公園内清掃・除草・灌水)の実施 ・ トライやるウィークの受け入れ ・ 災害時要援護者への支援活動(見守り、声掛け、避難誘導、生活支援) ・ 婦人防災安全委員(消防局連携)
(3) 社会教育関係団体間の連絡調整	・ 日本PTA全国研究大会 ・ 近畿ブロックPTA研究大会 ・ 指定都市PTA情報交換会	・ 全国大会等への参加(全国赤十字大会、(公財)明るい選挙推進協会全国フォーラム他)
(4) 機関紙の発行、資料の作成配布による社会教育に関する宣伝啓発	・ 広報紙「PTA神戸」の発行(年3回) ・ ホームページの開設運営 ・ 「PTA活動にあたっての参考資料」改訂版の作成	・ 機関紙「婦人神戸」の発行(月1回) ・ ホームページの運営
(5) 体育、運動競技若しくはレクリエーションに関する催しの開催、参加	・ 文化事業「KOBE★ファミリーコンサート」 ・ キッズニア体験事業	・ 神戸まつり等への参加 ・ 民踊のつどい、民踊の夕べの開催 ・ 春の音楽祭の開催 ・ ママさんバレーボール大会の開催(春・秋・こうべ長寿祭)
(6) 社会教育に関する研究調査	・ 必要に応じての専門委員会による討議・研究	・ 消費者問題、スポーツ、女性問題、地域防災、環境問題、手芸、美緑花、地域福祉、救急救命、情報の10テーマの調査研究及び技能取得、講座の実施(白バラ、消費者学級)
(7) その他社会教育の振興に寄与する公共的意義のある適切な事業	・ 「家庭教育の大切さを啓発する事業」 ① 「ミニレター&フォト応募作品募集と展示」 ② 「神戸市PTAフェスティバル」	・ ハミング広場(フラワーベース管理) ・ 市民花壇や清掃美化活動、資源回収 ・ デイサービス(神戸市地域拠点型一般介護予防事業) ・ ファミリーサービスクラブ(家事援助、外出・通院介助) ・ ふれあい喫茶 ・ 給食・配食サービス ・ 子育て支援(保育園、幼稚園、児童館との交流) ・ 子ども支援活動(子ども食堂、居場所作り、学習支援(大学連携)) ・ あいさつ運動 ・ 小・中学校への協力(昔遊び、登下校時の見守り等)

※上記の他に、神戸市教育委員会等から事業を受託し実施している。

婦人団体協議会：親子の学び教室、市立婦人会館指定管理業務、地域協働型文化育成事業、神戸婦人大学の運営 等

(3) 令和5年度 各社会教育事業に関する事業報告

①文化スポーツ局文化財課 事業報告

## 令和5年度上半期事業実績

文化財課

## 1. 神戸市埋蔵文化財センターの事業報告（6月末現在）

## ○春季企画展「お初にお目にかかります」

神戸市内の遺跡から出土した数多くの資料の中から、企画展でこれまでにテーマやタイミング等が目的に合わず、出品されることがない資料を厳選して初公開。また、近年の発掘調査で出土した資料も一堂に集めて紹介した。

会期 4月22日（土）～6月25日（日）（開館日数56日）

入館者数：4663人

展示解説 4月22日（土）32人、5月5日（金）18人

バックヤードツアー 5月7日（日）8人、6月10日（土）15人

本物の土器で実測体験 5月21日（日）8人

## ○入館者数推移

4月 4823人（令和4年度 4346人）

5月 1949人（令和4年度 3197人）

6月 2008人（令和4年度 1696人）

## ○学校団体見学

幼保1園56人、小学校19校993人

## ○一般団体見学（ディサービス含む）

4団体71人

## ○出張体験考古学講座・出張授業 11校868人

## ○トライやるウィーク

6月5日（月）～9日（金）1校4人

## ○博物館実習

6月24日（土）資料梱包実習 神戸学院大学 15人

## ○連携事業

6月17日（土）五色塚古墳まつり（共催：垂水区役所）来場者1,800人

6月29日（木）講演「兎原の古代豪族」（共催：東灘区文化センター）71人

○関連事業

第23回 スルッとKANSAI バスマつり関連企画

6月8日（木）～18日（日） エントランスホール ミニ展示 1060人

6月11日（日）埋蔵文化財センターにボンネットバスがやってくる 250人

6月8日（木）西水環境センター玉津処理場 吉田南遺跡展示室

LED化に伴うリニューアルオープン

4 2023

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5 2023

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6 2023

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7 2023

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8 2023

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9 2023

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10 2023

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11 2023

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12 2023

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

1 2024

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2 2024

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3		
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

3 2024

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

● : 講座・イベント実施日  
○ : 休館日

企画展



ご利用案内

開館時間 午前10時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)

休館日 年間カレンダー参照

入館料 無料

交通のご案内

市営地下鉄 三宮駅から西神中央駅まで約30分

バス 明石駅から西神中央駅まで約35分

※各線西神中央駅から徒歩8分

※駐車場はありません



神戸市埋蔵文化財センター

〒651-2273 神戸市西区糶台6丁目1 西神中央公園内

TEL:078-992-0656 FAX:078-992-5201

神戸市文化財課 公式 Twitter : @kobe\_bunkazaika

公式 Facebook : @kobebunkazaika



Heritage for the future  
神戸歴史遺産

神戸市埋蔵文化財センター

2023.4. - 2024.3.  
イベントカレンダー



市内出土の縄土器

●● 展示のご案内 ●●

企画展示

**春季**  
4月22日(土)～6月25日(日)  
**お初にお目にかかります**

**秋季**  
9月23日(土)～11月26日(日)  
**火と人のヒストリー**

**冬季**  
1月13日(土)～3月3日(日)  
**神戸・うつりかわる町とくらし4  
～昭和ノスタルジー～**

常設展示



よみがえる神戸の歴史

収蔵展示



出土資料を一堂に展示

整理作業を公開

発掘調査で出土した土網などを復元する作業が見学できます。



接合



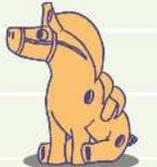
補強・修復



彩色

●● 連続講座 ●●

- 第1回 7月22日(土) 「ヒトは死して骨を残す」
- 第2回 9月23日(土・祝) 「古代の土木技術」
- 第3回 10月21日(土) 「火と人のヒストリー」
- 第4回 11月25日(土) 「港町の発掘調査」
- 第5回 12月23日(土) 「幕末に現れたる西洋式砲台」
- 第6回 1月20日(土) 「植物から過去をさぐる」
- 第7回 2月24日(土) 「こうべ発掘最前線～2022・2023年の調査から～」



■ 開講時間 各回14:00～15:30 ■ 受付当日先着80名 ■ 参加費 無料  
 ■ 学芸員による考古学講座 ■ 全7回参加者には修了証授与(各回スタンプ押印)  
 ※ KOBE生涯学習パスポート「マナビイ単位認定制度」対象です。

●● 体験! 考古学講座 ●●

開催日時	講座名	募集人数/費用
7/15(土) 〈10時～12時〉 〈14時～16時〉	勾玉をつくろう(1)	午前・午後各30名 1人400円
7/23(日) 〈10時～12時〉 〈14時～16時〉	火おこし器をつくろう	午前・午後各30名 1人500円
7/29(土) 〈10時～12時〉 〈14時～16時〉	古代の鏡をつくろう	午前・午後各20名 1人500円
8/5(土) 〈10時～12時〉 〈14時～16時〉	土器をつくろう	午前・午後各30名 1人400円
8/11(金/祝) 〈10時～15時〉	銅鐸をつくろう	20名 1人1,000円

※ 小学生以下は保護者同伴でご参加ください。(小学校3年生以下は、直接お問合せください。)  
 ※ KOBE生涯学習パスポート「マナビイ単位認定制度」対象です。

8/19(土) 〈10時～15時〉	古代の編み機をつくって コースターをつくろう	20名 1人500円
8/27(日) 〈10時～12時〉 〈14時～16時〉	勾玉をつくろう(2)	午前・午後各30名 1人400円
9/9(土) 〈10時～12時〉 〈14時～16時〉	古代の染物をしよう	午前・午後各15名 1人500円
11/18(土) 〈10時～15時〉	茅葺職人さんと 竪穴住居を建てよう 共催：すまいるネット	20組 1組300円
1/28(日) 〈10時～15時〉 3/3(日) 〈10時～15時〉	縄文土器をつくろう 作業1～形をつくる～ 作業2～土器を焼く～	30名 2回合わせて 1人1,000円

体験! 考古学講座のお申込は…

参加をご希望の講座ごとに、往復はがき又はFAXに「講座名・参加者氏名・引率者氏名・年齢・住所・連絡先」をご記入の上、講座開催日の15日前必着でご応募ください。  
 ※申込用紙は、埋蔵文化財センターのHPからダウンロードできます。※応募者多数の場合は、抽選いたします。

お知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種イベントにつきましては、開催の中止や内容・スケジュールなどの変更を行う場合があります。変更があった場合はSNSでお知らせいたします。ご来館にあたっては事前にお電話でお問合せいただくか、HP・SNSでご確認ください。

●● 館外の催し ●●

- 共催：垂水区役所  
**五色塚古墳まつり**  
日時：6月17日(土)10:00～15:30  
会場：垂水区 五色塚古墳
- 共催：東灘区文化センター  
講演会  
**菟原の古代豪族**  
日時：6月29日(木)  
会場・お問合せ先：東灘区文化センター
- 共催：神戸市立西図書館  
スタンプラリー  
**お宝だいぼうけん13**  
日時：7月20日(木)～8月31日(木)  
会場：西図書館・埋蔵文化財センター
- 共催：道場町連合自治会  
**道場町文化財展**  
日時：11月2・3日(木・金/祝)  
会場：北区 農村環境改善センター
- 共催：垂水区役所  
**おとし山まつり**  
日時：11月3日(金/祝)10:00～15:30  
会場：垂水区 大歳山遺跡公園



五色塚古墳まつり



おとし山まつり

令和5年度春季企画展

# お初刀にお目にかかります



ひしゃげた須恵器の坏身  
【雪御所遺跡】



磨製石槍  
【岡本東遺跡】

こんにちは！  
わたし、おはつっていうんだ！  
これ以外にも、まだまだたくさんあるよ！  
企画展示室で待ってるよ！



石鏃  
【城ヶ谷遺跡】



鉄刀  
【兵庫津遺跡】



ひしゃげた土師器碗  
【雪御所遺跡】

2023年

- 遺跡と考古資料のミュージアム -

4月 22日 (土)

神戸市埋蔵文化財センター

▶ 6月 25日 (日)



# お初にお目にかかります



奈良時代の窯跡【城ヶ谷遺跡】



奈良時代の窯跡から出土した土器

【城ヶ谷遺跡】



お経の書かれた土器

【兵庫津遺跡】

神戸市には旧石器時代から近代まで、約1000か所の遺跡が存在します。昭和40年代以降数多くの発掘調査が行われ、土器をはじめ、石器・木器・金属器などの遺物や遺構が発見されています。その成果は、神戸の歴史を考えるうえで欠かすことのできない貴重な資料となっています。

神戸市埋蔵文化財センターでは、神戸市内の発掘調査で出土した貴重な資料を整理、調査を行った後、大切に保存しています。そして、数多くの資料を展示という形で市民の皆様に向け、公開・活用を行ってきました。

今回の企画展では、これまでにテーマやタイミング等が目的に合わず、お目にかけることができなかった資料の中から、厳選したものを初めて公開いたします。また、近年の発掘調査で出土した資料も一堂に集め、旧石器時代から近代までの資料を紹介します。当館でお初にお目にかけます資料たちの初舞台を是非、ご堪能ください。



### 問い合わせ先

市総合コールセンター ナビダイヤル: 0570-083-330  
TEL: 078-333-3330 FAX: 078-333-3314

### 関連イベント

★学芸員による展示解説【申込不要・先着20名】

4/22(土), 5/5(金・祝) 午前の部 11:00~11:30, 午後の部 14:00~14:30

★バックヤードツアー【申込不要・先着20名】

5/7(日), 6/10(土) 午前の部 11:00~11:30, 午後の部 14:00~14:30

★本物の土器で実測体験!【申込必要・定員10名】※小学6年生以上が対象

5/21(日) 13:00~15:00

### ●申込方法

往復ハガキまたはFAXに必ずイベント名と日時・参加者全員の氏名・連絡先・年齢を明記しイベント開催日の2週間前必着にてご応募ください。小学生の方は保護者の同伴が必要です。※応募者多数の場合は抽選となります。お電話での受付はできません。

### ご利用案内

会場 ■神戸市埋蔵文化財センター 企画展示室  
開館時間 ■10:00~17:00 [入館16:30まで]  
休館日 ■毎週月曜日  
入館料 ■無料

### 交通のご案内

地下鉄 ■三宮駅から西神中央駅まで約30分  
バス ■明石駅から西神中央駅まで約35分  
各線西神中央駅から徒歩8分  
※駐車場はありません

市営地下鉄に乗って埋蔵文化財センターに行こう!!

「地下鉄1日乗車券」発売中!

詳しくは [沿線NAV1](http://沿線NAV1) で検索 <http://ktbsp.jp/>



## - 遺跡と考古資料のミュージアム - 神戸市埋蔵文化財センター

〒651-2273 神戸市西区糀台6丁目1 西神中央公園内  
TEL: 078-992-0656 FAX: 078-992-5201



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

# 五色塚古墳まつり 2023

6月17日(土) 10:00~15:30 (雨天中止)

兵庫県最大の前方後円墳 五色塚古墳で、勾玉づくりや埴輪づくりなど、古代人のものづくりを体感しよう!!



**第1部**  
霞ヶ丘小学校6年生有志による  
古墳時代パレード  
10:00~11:30

**第2部**  
古代体験 13:00~15:30

会場：垂水区五色山4丁目1 史跡五色塚古墳  
主催：神戸市  
協力：韓国打楽器こるもっきる  
NPO 法人輝かすみが丘  
垂水区地域協働課 / 神戸市立霞ヶ丘小学校

お問い合わせ先：神戸市埋蔵文化財センター TEL：078-992-0656  
神戸市総合コールセンター TEL：0570-083330

当日のお問い合わせ先：TEL:090-2597-3013



交通のご案内

JR・山陽電車垂水駅より西に徒歩約15分  
山陽電車霞ヶ丘駅より東に徒歩約5分

# 第2部 古代体験

13:00~15:30



いろいろな  
体験が  
できるよ~♪



勾玉づくり

参加費  
300円

各回定員 50名

やわらかい石を削って、勾玉を作ろう！  
きれいに磨いてピカピカに仕上げてね。



参加費  
無料

古代衣装試着

復元した衣装を着て、古代人になりきって  
着心地を楽しんでみよう！



土器・埴輪づくり

参加費  
400円

各回定員 50名

粘土を使って、土器や埴輪を作ってみよう！



参加費  
500円

古代の鏡づくり

各回定員 10名

鋳型に文様を彫って古代の鏡を作ろう！



火おこし体験

参加費  
無料

古代の火おこし器「舞ギリ」を使って、火をおこしてみよう！

土器・埴輪づくり、勾玉づくり、古代の鏡づくりは、  
時間制（2部・入替制）となります。

- ・13:00~
- ・14:30~

チケットの発売は開始時間の30分前からです。  
各回先着順で50名まで。状況により整理券を発行しお待ちいただく場合があります。

どれも  
面白そうだなあ~

夏休みの宿題にも  
ピッタリだ！



## 神戸市埋蔵文化財センターからのお知らせ

終了間近！

お見逃しなく

春季企画展

ただいま開催中!! 6月25日(日)まで  
お初にお目にかかります

入館料  
無料

KOBE生涯学習パスポート  
「マナビイ単位認定制度」対象です

### 体験! 考古学講座

※ 参加をご希望の講座ごとに、往復はがき又はFAXに「講座名・参加者氏名・引率者氏名・年齢・住所・連絡先」をご記入の上、該当日の15日前必着でご応募ください。  
※ 小学生以下は保護者同伴でご参加ください。(小学校3年生以下は、直接お問い合わせください。)

開催日時	講座名	募集人数/費用
7/15(土) <10時~12時> <14時~16時>	勾玉をつくろう(1)	午前・午後 各30名 1人400円
7/23(日) <10時~12時> <14時~16時>	火おこし器をつくろう	午前・午後 各30名 1人500円
7/29(土) <10時~12時> <14時~16時>	古代の鏡をつくろう	午前・午後 各20名 1人500円
8/5(土) <10時~12時> <14時~16時>	土器をつくろう	午前・午後 各30名 1人400円
8/11(金) <10時~15時>	銅鐸をつくろう	20名 1人1000円
8/19(土) <10時~15時>	古代の編み機をつくってコースターをろう	20名 1人500円
8/27(日) <10時~12時> <14時~16時>	勾玉をつくろう(2)	午前・午後 各30名 1人400円
9/9(土) <10時~12時> <14時~16時>	古代の染物をしよう	午前・午後 各15名 1人500円
11/18(土) <10時~15時>	茅葺職人さんと 竪穴住居を建てよう	20組 1組300円
1/28(日) <10時~15時> 3/3(日) <10時~15時>	縄文土器をつくろう 作業1~形をつくる~ 作業2~土器を焼く~	30名 2回合わせて1人1000円

## ②博物館学芸課 事業報告

## 令和5年度の特別展

### 博物館

展覧会名	会期	入館者数
特別展 ジブリパークとジブリ展	令和5年(2023)4月15日(土) ～6月25日(日)【63日間】	227,177人 (3,606人/日)
特別展 神戸の文化財Ⅲ ～今伝えたい、私たちの宝・街・心・技～	令和5年(2023)7月22日(土) ～9月10日(日)【44日間】	想定入館者数 20,000人 (455人/日)
特別展 Colorful JAPAN 一幕末・明治手彩色写真への旅	令和6年(2024)3月30日(土) ～5月19日(日)【45日間】	想定入館者数 32,000人 (712人/日)

### 小磯記念美術館

展覧会名	会期	入館者数
特別展 画業60周年記念 青池保子 一華麗なる美術・歴史絵巻	令和5年(2023)年7月15日(土) ～9月24日(日)【62日間】	想定入館者数 18,200人 (294人/日)
特別展 小磯良平生誕120年 働く人びと	令和5年(2023)年10月7日(土) ～12月17日(日)【62日間】	想定入館者数 22,770人 (368人/日)

### 神戸ゆかりの美術館

展覧会名	会期	入館者数
特別展 ながれ・いろどる 墨の世界	令和5年(2023)7月1日(土) ～9月3日(日)【56日間】	想定入館者数 13,500人 (241人/日)
特別展 さくらももこ	令和5年(2023)9月16日(土) ～12月28日(木)【89日間】	想定入館者数 26,700人 (300人/日)
第10回 日展 神戸展	令和6年(2024)2月17日(土) ～3月24日(日)【32日間】	想定入館者数 46,000人 (1,438人/日)

# 神戸の文化財 Ⅲ

Treasure

特別展

Cultural Property  
of KOBE

Message from  
our treasure,  
town,  
heart,  
technique

Town



①



③



②

2023. 7.22(土) — 9.10(日)

※会期中展示替えがあります。  
前期:7月22日(土)~8月20日(日) 後期:8月22日(火)~9月10日(日)

休館日:月曜日  
開館時間:9時30分~17時30分 金曜日と土曜日は19時30分まで  
(入場は閉館の30分前まで)

主催:神戸市立博物館、神戸市文化財課、神戸新聞社  
後援:NHK神戸放送局、ラジオ関西、サンテレビジョン  
協賛:公益財団法人日本教育公務員弘済会兵庫支部、  
一般財団法人みなと銀行文化振興財団  
協力:一般財団法人神戸観光局、神戸新聞旅行社、  
株式会社ポトマック、株式会社日比谷花壇

今伝えたい、  
私たちの宝・街・心・技



Heart



④



③



④



JAPAN CULTURAL EXPO 2023



文政区



Heritage for the future  
神戸歴史遺産

令和5年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業

神戸市立博物館  
KOBE CITY MUSEUM

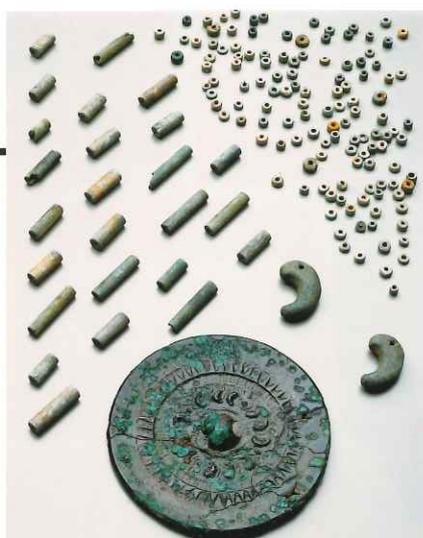
Technique

神戸市立博物館は昭和57年(1982)に開館して以来、私たちにとって非常に貴重な文化財、神戸の歴史や文化を継承するという使命を担っています。その実践の一環として、昭和58年、平成19年(2007)に「神戸の文化財」展を開催しました。今回はその第3弾として、令和時代に伝えたい文化財を紹介します。現在、文化財をめぐる状況は目まぐるしく変化し、改めてその意義が問われています。本展では「私たちにとって文化財とは何か?」という視点から、神戸の文化財を4つのキーワード、「宝」「街」「心」「技」のもとで紹介し、その魅力に迫ります。

神戸市立博物館での  
**初公開10件含む、  
 重要文化財13件、  
 重要美術品2件、  
 県・市の指定文化財30件!**

# 街

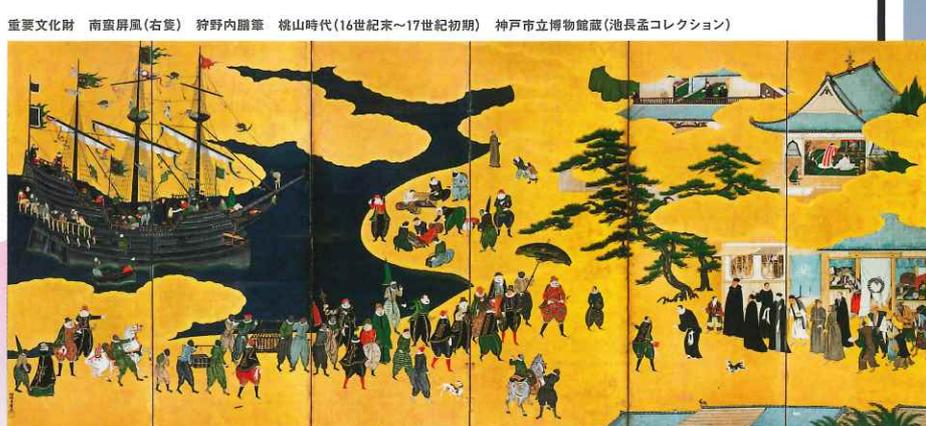
神戸市内に遺された「私たちの街」の発展を示す文化財で、身近な地域の成り立ちをたどります。



神戸市指定有形文化財 高津橋大塚古墳出土品 古墳時代(4世紀後半～5世紀初頭) 神戸市蔵

文化財とは何か…。神戸で伝えられた「私たちの宝」の数々。その保護・継承の取り組みも紹介します。

# 宝



重要文化財 南蛮屏風(右隻) 狩野内膳筆 桃山時代(16世紀末～17世紀初期) 神戸市立博物館蔵(池長孟コレクション)

# 技

古くから継承されてきた技の数々が、人々の暮らしを支えてきました。「私たちの技」の歴史と、未来への指標を探ります。



神戸市指定有形文化財 禪昌寺旧方丈障壁画 花木園(A装) 江戸時代(17世紀前半) 禪昌寺蔵

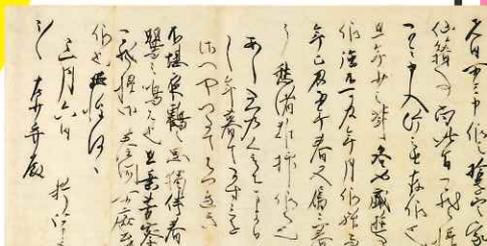


神戸市指定有形文化財 佐渡理銅 上沢遺跡出土 奈良時代(8世紀) 神戸市蔵



神戸市指定有形文化財 持国天立像 (四天王立像のうち) 平安時代後期(11世紀) 飯法輪寺蔵

時を超えて文化財に込められてきた思いや願い。「私たちの祖先の心」との対話をお楽しみください。



重要文化財 藤原俊成自筆消息条 文治2年(1186) 香雪美術館蔵

# 心

**会期中、重要文化財「聖フランシスコ・ザビエル像」の実物を公開!**  
 本展観覧券で、国宝「桜ヶ丘銅鐸・銅戈」、重要文化財「聖フランシスコ・ザビエル像」を含む、当館コレクション展示室もご覧いただけます



重要文化財 聖フランシスコ・ザビエル像(部分) 江戸時代(17世紀前期) 神戸市立博物館蔵(池長孟コレクション)

## 関連イベント

**記念講演会「千年家～神戸の箱木家住宅(仮)」**  
 日時 7月29日(土)14時～15時30分  
 場所 神戸市立博物館 地階講堂  
 講師 黒田 龍二氏(神戸大学名誉教授)  
 定員 140名(当日先着順)  
 参加費 無料(ただし、当日ご使用いただける本展観覧券が必要です)  
 ※当日13時から講堂前で整理券を配布

**学芸員による展示解説会**  
 日時 毎週土曜日 17時～17時30分(開場は16時30分)  
 場所 神戸市立博物館 地階講堂  
 定員 140名(当日受付、先着順)  
 参加費 無料(ただし、当日ご使用いただける本展観覧券が必要です)

**未就学児向け鑑賞会**  
 日時 7月31日(月) 9時30分～11時30分(入館は11時まで)  
 対象 未就学児とその保護者  
 参加費 未就学児1名につき、保護者2名まで無料

入場料	一般	大学生
当日	1,400円	700円
団体	1,200円	600円

※高校生以下無料※団体は20名以上※満65歳以上で神戸市在住の方は当日券売窓口にて証明書の提示で当日一般料金が半額※障がいのある方は障がい者手帳などの提示で無料。

※本展観覧券でコレクション展示室もご覧いただけます。

**神戸市立博物館**  
 KOBE CITY MUSEUM

〒650-0034 神戸市中央区京町24番地  
 TEL 078-391-0035 FAX 078-392-7054  
 SNS Facebook・Twitter: @kobemuseum Instagram: kobemuseum



博物館HP

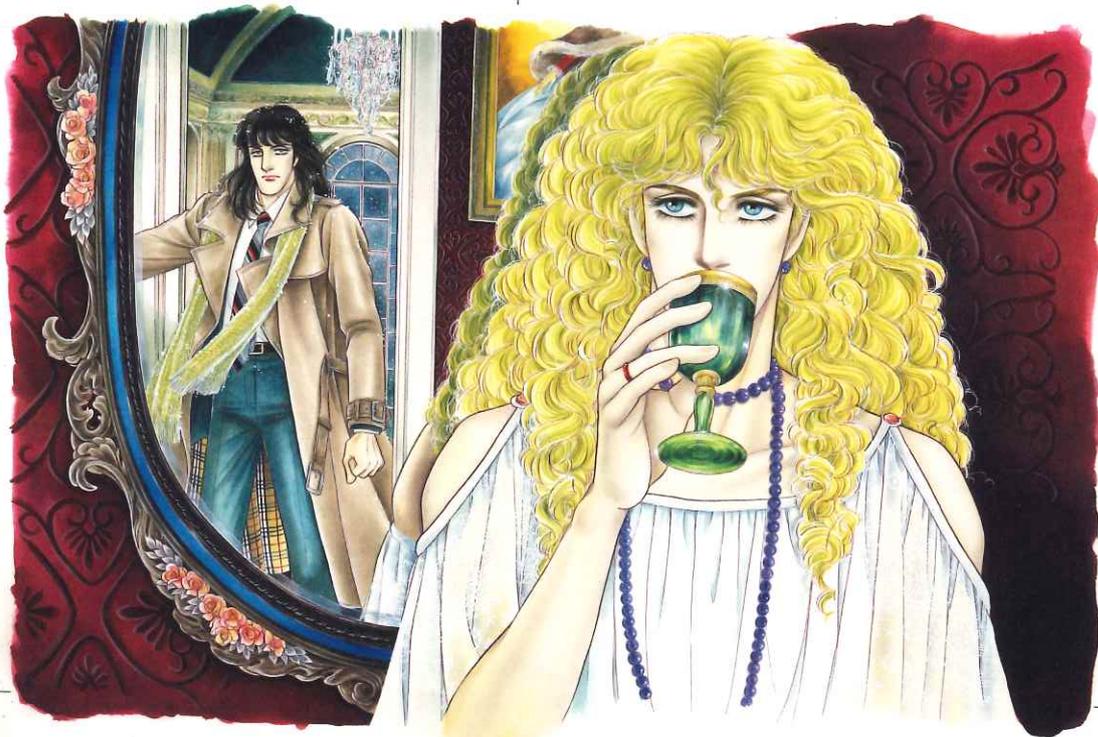
●JR「三宮」駅、阪急・阪神「神戸三宮」駅、神戸市営地下鉄(西神・山手線)、ポートライナー「三宮」駅から南西へ徒歩約10分●JR、阪神「元町」駅から南東へ徒歩約10分●神戸市営地下鉄(海岸線)「旧居留地・大丸前」駅から南東へ徒歩約8分●新幹線「新神戸」駅から神戸市営地下鉄(西神・山手線)に乗換え、「三宮」駅下車●神戸空港からポートライナーで「三宮」駅下車※博物館には駐車場がありません。お近くの有料駐車場をご利用ください。



漫画家生活60周年記念

# 青池保子展

*Contrail* 航跡のかがやき



「エロイカより愛をこめて」No.10「グラス・ターゲット」『プリンセス』1981年1月号

57



「アルカサル王城」第一部第13話 扉絵  
『プリンセス』1986年1月号



「修士ファルコ」Cap. VI 4 扉絵 『メロデー』2001年5月号

作品はすべて青池保子作、秋田書店蔵  
©Aoiike Yasuko (Akitashoten)

2023年

会期／7月15日 土 ~ 9月24日 日

休館日／毎週月曜日(祝日は開館)、7月18日(火)、9月19日(火)

開館時間／午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料／一般1,000円(800円)、大学生500円(250円)

\*高校生以下:無料(学生証、生徒手帳などをご提示ください。)

\* ( )内は20名以上の団体割引料金

\* 神戸市居住の65歳以上の方は500円(年齢と住所を証明できるものをご提示ください。)

\* 障がい者手帳またはスマートフォンアプリ「ミライロID」のご提示で無料

主催／神戸市立小磯記念美術館、毎日新聞社

特別協力／秋田書店、大阪府立中央図書館 国際児童文学館



神戸市立小磯記念美術館

Kobe City Koiso Memorial Museum of Art

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5丁目7

TEL 078-857-5880 FAX 078-857-3737

<https://www.city.kobe.lg.jp/koisomuseum/>

同時開催 小磯良平作品選Ⅱ



1



2



3

# 漫画家生活60周年記念 青池保子展

Contrail 航跡のかがやき

この夏、初の漫画原画展を開催します。独創的な世界を築いてこられた青池保子氏（山口県下関市出身）の画業60年を記念して、秋田書店が所蔵する数百点のカラー原画から厳選した作品と、今までの展覧会では出なかったモノクロ作品300点以上を、8章構成で展示します。

氏のデビューは中学3年生でした（「さよならナネット」を発表）。1973年、専属からフリーとなり、1976年から『プリンセス』（秋田書店）で連載を始めた「イブの息子たち」は、少女漫画界に衝撃を与え、性別年代をこえてファン層が拡大しました。

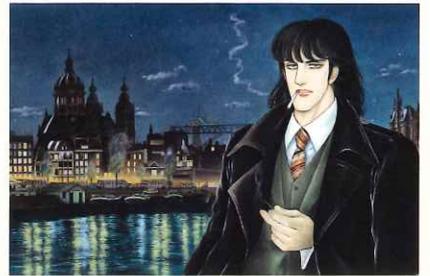
1977年より「エルアルコン-鷹-」「エロイカより愛をこめて」を連載。またイベリア半島統一を目指したドン・ペドロ王に関心を抱き、1984年から彼の生涯をたどる「アルカサル-王城-」の連載を始め、24年かけて完結させました（第20回日本漫画家協会賞優秀賞を受賞）。

1990年代以降は「修道士ファルコ」（1991～）と「ケルン市警オド」（2016～）を連載、これらは中世3部作と呼ばれ、数百年前の欧州地域における社会と人々の暮らしが、異なる階層（王、修道士、官吏）の視点で描かれ、併せ読むと重層的に理解できます。美術や歴史に題材をとった緻密な原画を堪能ください。

1. 「さよならナネット」『りぼん』1964年 お正月増刊号
  2. 「イブの息子たち」PART6 第5話扉絵『プリンセス』1979年 7月号
  3. 「エルアルコン-鷹-テンペスト」前編扉絵『月刊セブンティーン』1978年 7月号
  4. 「光と影の伝説（イザベル1世）『クレープフルーツ』第6号 1982年
  5. 「魔弾の射手」前編扉絵『プリンセス』1982年 8月号
  6. 「ケルン市警オド」Chap.19 扉絵『ミステリーポニータ』2020年 1月号
- 作品はすべて青池保子作、秋田書店蔵 ©Aoike Yasuko (Akitashoten)



4



5



6

## 会期中のイベント

（いずれも参加費は無料ですが、特別展入館券が必要です。）

場所：アトリエ解説以外、2階絵画学習室

### 講演会など

※要事前申込、抽選

下記の二次元コードをスマートフォンなどで読み取り、お申し込みください。

### 青池保子先生サイン会

8/5（土）午後2時～4時  
申込締切：7/20（木）  
定員：100名（抽選での決定者のみ）



申込WEB

### 記念講演会「少女マンガ表現の成立と展開 1970～80年代を中心に」

8/20（日）午後2時～4時  
申込締切：8/3（木）  
講師：藤本由香里氏  
（明治大学国際日本学部教授）  
定員：80名



申込WEB

### 担当学芸員による解説会

7/16、7/30、8/13、8/27、9/10、9/24（いずれも日曜）  
午後2時～（約30分）  
定員：50名 当日先着順（整理券を配布）

### 子供のためのワークショップ びじゅつかん大作戦

就学前のお子様を連れた大人2名まで、割引料金（800円）で入館できます。



申込WEB

### びじゅつかん探検

7/29（土）午後2時～4時  
申込締切：7/13（木）  
対象：4歳～中学生 定員：20名  
ふだんは見ることのできないところを見学します。

### 光にゆれる青池さんの世界

9/9（土）午後2時～4時  
申込締切 8/24（木）  
対象：4歳～中学生 定員：20名  
お気に入りの色や形を組み合わせながら描き、ランブシェードをつくりましょう。

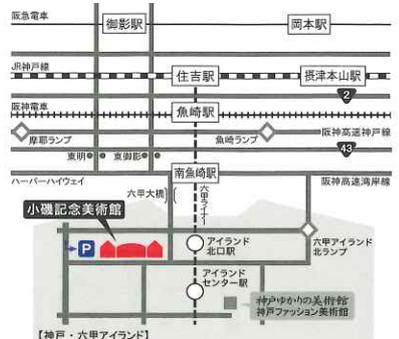
### 赤ちゃん家族の日

お子様の休憩ルームと授乳室もご用意しています。  
7/20、8/17、9/21（毎月第3木曜日）  
午後1時～ えのまねっこをしよう

### アトリエ解説

平日 午後2時～（約15分）  
インフォメーションスタッフが小磯良平のアトリエについて解説します。

### 交通アクセス



**電車** JR「住吉駅」、阪神「魚崎駅」から六甲ライナーに乗り換え、「アイランド北口駅」（小磯記念美術館前）下車、西へ徒歩すぐ

**バス** 阪急「御影駅」南側から、みなと観光バス131系統で「ウエストコート3番街前」下車すぐ  
※美術館の地下に六甲アイランド公園西駐車場（有料）があります。

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5-7  
〔六甲アイランド公園内〕

Tel. (078) 857-5880 Fax. (078) 857-3737  
https://www.city.kobe.lg.jp/koisomuseum/

神戸市立小磯記念美術館  
Kobe City Koiso Memorial Museum of Art



### ③文化スポーツ局スポーツ企画課 事業報告

令和5年8月  
第37期第3回神戸市社会教育委員会議資料  
文化スポーツ局 スポーツ企画課

## 令和4年度公民館事業報告

### 1. 講座事業

講座事業については、環境やICT等の現代的課題、健康、スポーツ等幅広いテーマで講座事業を実施した。前年度と比較して概ね同程度の講座数を企画・運営した。

#### (1) 短期講座 ( )は前年度の講座数

	春季講座	秋季講座	合計
住之江	12 (6)	11 (12)	23 (18)
葺合	3 (9)	6 (14)	9 (23)
清風	20 (13)	16 (22)	36 (35)
長田	19 (17)	16 (22)	35 (39)
南須磨	9 (10)	13 (14)	22 (24)
東垂水	8 (4)	6 (6)	14 (10)
玉津南	23 (12)	16 (19)	39 (31)
合計	94 (71)	84 (109)	178 (180)

#### (2) サマースクール ( )は前年度の講座数

	サマースクール講座数
住之江	10 (7)
葺合	11 (11)
清風	5 (7)
長田	19 (16)
南須磨	11 (11)
東垂水	7 (10)
玉津南	16 (13)
合計	79 (75)

### 2. 施設利用者数推移

(人)

	R4	R3	R2	R1
利用者数	166,953	135,172	100,123	208,678

神戸市立公民館

2023

サマースクール

参加者  
募集!!

●公民館サマースクールの申込締切は●

7月4日 17:00

締切

Summer School 2023

夏休みの思い出と宿題は  
これでバッチリ!

神戸市立  
公民館



○○公民館 検索

※○○に公民館名を入れて下さい。

応募は4ページの2次元コードから応募先の公民館へインターネットにてお申込み下さい。

◎：要参加（必ず参加してください） ○：参加可（いっしょに活動できます） △：見学可

▲：見学不可（参加者以外の児童・幼児は保護者と待機）

×：待機不可（参加者以外の児童・幼児は連れて来ないでください）

※SDGs印は公民館のSDGs（持続可能な開発目標）教室です。

館外の教室

記号	応募先	教室名	開催日	時間	対象	保護者	対象 未済	定員	教材費	集合場所	備考
A	住之江	夏休み親子市場見学会① ～東部市場って、どんなところ?～	7/24(月)	6:45～8:30	小学生と 保護者	◎	×	15組 30名	無料	神戸市中央卸売市場 東部市場	車での来場可 (駐車場あり)
B	住之江	夏休み親子市場見学会② ～東部市場って、どんなところ?～	7/28(金)	6:45～8:30	小学生と 保護者	◎	×	15組 30名	無料	神戸市中央卸売市場 東部市場	車での来場可 (駐車場あり)
C	住之江	地下鉄の基地は地下にある!! 「親子地下鉄御崎車両基地見学」	8/2(水)	9:50～11:30	小学生と 保護者	◎	×	20組 40名	無料	御崎ビル	
D	葦合	宿題バッチリ! 読書感想文の書き方 ～読書感想文が苦手な人にちょっとヒント～	8/3(木)	13:15～14:30	小学1年生と 保護者	◎	△	15組	無料	神戸市立中央図書館	筆記用具持参
E	葦合	宿題バッチリ! 読書感想文の書き方 ～読書感想文が苦手な人にちょっとヒント～	8/3(木)	14:45～16:00	小2～6年生と 保護者	◎	△	15組	無料	神戸市立中央図書館	筆記用具持参
F	長田	くららベーカリーでパンづくり	7/24(月)	13:50～16:10	小学生	△	△	14名	700円	長田公民館	実際にパンを作ります
G	長田	お寺で自由研究! 自分の命を守ろう! 遊んで学ぶウォーターセーフティー教室 SDGs	7/25(火)	14:00～15:30	小学生	○	○	10名	無料	清涼山 地藏院 (長田区役所付近)	
H	長田	映像体験&スタジオ施設見学! 「サンテレビ親子探検隊」	8/1(火)	13:30～16:00	小4～6年生と 保護者	◎	×	10組 20名	無料	サンテレビ入口	報道機関のため、社会 情勢によって不開講 になる場合もあり
I	長田	日本銀行神戸支店① ～「にちぎん」ってナニ&新しいお札について知ろう～	8/22(火)	9:30～11:30	小5～中学生と 保護者	◎	×	20組 40名	無料	日本銀行神戸支店 北側入口	
J	長田	日本銀行神戸支店② ～「にちぎん」ってナニ&新しいお札について知ろう～	8/22(火)	14:00～16:00	小5～中学生と 保護者	◎	×	20組 40名	無料	日本銀行神戸支店 北側入口	
K	東垂水	ガラス細工で携帯ストラップづくり	7/25(火)	13:30～15:00	小4～6年生	▲	▲	5名	200円	ゆとり作業所	KとLの重複申込は 不可
L	東垂水	ガラス細工で携帯ストラップづくり	7/27(木)	14:00～15:30	小4～6年生	▲	▲	10名	200円	ゆとり作業所	KとLの重複申込は 不可
M	玉津南	親子で行こう! 神戸中央郵便局舞台裏探検ツアー	8/9(水)	13:00～15:00	小・中学生と 保護者	◎	×	16組 32名	無料	神戸中央郵便局 南側入口	

申込やバリアフリーの状況については、応募先の公民館にお問い合わせください。

# 館内の教室

※ご応募の際は下記の印をご確認ください。

◎：要参加（必ず参加してください） ○：参加可（いっしょに活動できます）

△：見学可

▲：要参加（参加者以外の児童・幼児は保護者と待機）

×：待機不可（参加者以外の児童・幼児は連れて来ないでください）

※SDGs印は公民館のSDGs（持続可能な開発目標）教室です。

## 住之江公民館

【問い合わせ・応募先】〒658-0053 神戸市東灘区住吉宮町2-2-3 Tel.078-822-1300 Fax.078-822-7037

番号	教室名	開催日	時間	対象	保護者	対象未済	定員	教材費	講師名
1	宿題バッチリ！備長炭電池づくりに挑戦！	7/25(火)	10:00～11:30	小3・4年生	△	×	20名	無料	関西電気保安協会
2	宿題バッチリ！モーターづくりに挑戦！	7/25(火)	13:30～15:00	小5・6年生	△	×	20名	無料	関西電気保安協会
3	宿題バッチリ！古代の人も作っていた「組みひも」作りに挑戦！	7/26(水)	13:30～15:30	小3～6年生と保護者	◎	×	9組 18名	子供1人 800円	菊地 有希子
4	よさこいソーランをカッコよく踊ろう！	7/27(木)	14:00～15:30	5歳～小学生	○	○	15名	無料	和楽舞 (公民館登録グループ)
5	やってみよう！バドミントン体験教室	8/3(木)	9:30～11:30	小4～6年生	△	×	12名	無料	バドミントン (公民館登録グループ)

## 葺合公民館

【問い合わせ・応募先】〒651-0081 神戸市中央区真砂通2-1-1 Tel.078-232-4026 Fax.078-232-4028

番号	教室名	開催日	時間	対象	保護者	対象未済	定員	教材費	講師名
6	楽しく英語で遊ぼう！～先生は高校生～	7/21(金)	13:30～15:00	小学生	○	△	20名	無料	葺合高校生徒
7	宿題バッチリ！親子勾玉教室～親子で勾玉を作ろう！～	7/25(火)	14:00～16:00	小4～6年生	◎	△	20組	300円	神戸市埋蔵文化財センター 学芸員
8	バドミントンにチャレンジ！ ～初めてのバドミントン体験教室～	7/26(水)	9:30～11:50	小4～6年生	○	△	20名	無料	フライングエンジェルス (公民館登録グループ)
9	宿題バッチリ！古代人体験教室 ～親子で古代の編み機を使ってコースターを作ろう～	8/1(火)	14:00～16:00	小4～6年生	◎	△	20組	500円	神戸市埋蔵文化財センター 学芸員
10	宿題バッチリ！理科実験～「備長炭電池づくりに挑戦」～	8/8(火)	10:30～12:00	小3・4年生	◎	△	20組	無料	関西電気保安協会
11	宿題バッチリ！理科実験～「モーターづくりに挑戦」～	8/8(火)	13:30～15:00	小5・6年生	◎	△	20組	無料	関西電気保安協会
12	宿題バッチリ！理科実験～光のカクテル～ 7色に変化するLEDで光る芸術品を作ります	8/9(水)	10:00～11:30	小3～6年生	◎	△	20組	400円	くらしか関西

## 清風公民館

【問い合わせ・応募先】〒650-0017 神戸市中央区楠町8-10-3 Tel.078-371-3319 Fax.078-371-3327

番号	教室名	開催日	時間	対象	保護者	対象未済	定員	教材費	講師名
13	美ら海魚拓A	7/24(月)	10:00～12:00	小学生	×	×	20名	800円	臨床美術こうべ
14	美ら海魚拓B	7/24(月)	13:30～15:30	小学生	×	×	20名	800円	臨床美術こうべ
15	ハイキューキッズ 小学生バレーボール教室	7/25(火)	10:00～12:00	小4～6年生と保護者	△	△	20名	無料	公民館登録グループ有志
16	とうげい教室～想いを形に～A(全2回)	7/27・8/10(木)	10:30～12:00	小～中学生	▲	▲	15名	700円	西脇 正明
17	とうげい教室～想いを形に～B(全2回)	7/27・8/10(木)	13:30～15:00	小～中学生	▲	▲	15名	700円	西脇 正明
18	親子でだんじり祭を学ぶ	7/28(金)	13:00～15:00	小学生と保護者	◎	×	15組	無料	住吉歴史資料館 内田 雅夫
19	読もう！打とう！感動！点字入門	7/31(月)	10:00～12:00	小3～中学生	○	×	15名	無料	神戸市立点字図書館と 点訳ボランティア
20	親子で体験～茶道教室～	7/31(月)	14:30～15:30	小4～6年生と保護者	◎	×	5組	500円	茶道すみれ (公民館登録グループ)
21	子供卓球～楽しくピンポン～	8/1(火)	10:00～12:00	小3～中学生	△	△	20名	無料	TTSタカハシと 公民館登録グループ有志
22	手から生まれる素敵な言葉～手話入門～	8/7(月)	10:00～12:00	小学生	○	×	20名	無料	バンジー (公民館登録グループ)

## 長田公民館

【問い合わせ・応募先】〒653-0004 神戸市長田区四番町4-51 Tel.078-575-1374 Fax.078-575-1785

番号	教室名	開催日	時間	対象	保護者	対象未済	定員	教材費	講師名
23	マジックに挑戦！～アツと驚く！明日から出来る簡単マジック～	7/22(土)	13:30～15:00	小学生	△	△	20名	無料	松平 憲長と 公民館登録グループ
24	チャレンジスポーツ！子供卓球～楽しくラリー！何回続かな？～	7/25(火)	13:00～15:00	小4～6年生	△	△	20名	無料	TTSタカハシと 公民館登録グループ
25	手芸に挑戦！～夏の風物詩 金魚の飾りを作ろう～	7/26(水)	13:00～15:00	小学生	△	△	20名	無料	春風会 (公民館登録グループ)
26	チャレンジスポーツ！子供バレーボール ～楽しくつなごう、ボールと心～	7/27(木)	10:00～12:00	小4～6年生	○	○	20名	無料	木曜バレーボール (公民館登録グループ)
27	理科実験～ホバークラフトを作ろう！空気の科学を勉強しよう～	7/27(木)	14:00～15:45	小4～6年生	△	△	20名	350円	くらしか関西
28	陶芸教室①～自分だけの作品作り～(全2回)	7/28(金)・8/18(金)	10:00～11:30	小・中学生	▲	▲	15名	700円	西脇 正明
29	陶芸教室②～自分だけの作品作り～(全2回)	7/28(金)・8/18(金)	13:00～14:30	小・中学生	▲	▲	15名	700円	西脇 正明

## 南須磨公民館

【問い合わせ・応募先】〒654-0038 神戸市須磨区青葉町2-2-3 Tel.078-735-2770 Fax.078-735-2782

番号	教室名	開催日	時間	対象	保護者	対象未済	定員	教材費	講師名
30	今年の夏まつりはこれで決まり！親子で浴衣を！着付け教室	8/1(火)	10:00～12:00	女子小・中学生と母親	◎	×	5組10名	無料	今川 ゆかりと 公民館登録グループ
31	夏休みの自由研究はこれで決まり！土をこねこね！わくわく陶芸①(全2回)	8/3(木)・17(木)	10:00～11:30	小1・2年生	▲	▲	12名	700円	西脇 正明と 公民館登録グループ
32	夏休みの自由研究はこれで決まり！土をこねこね！わくわく陶芸②(全2回)	8/3(木)・17(木)	13:30～15:00	小3～中学生	▲	▲	12名	700円	西脇 正明と 公民館登録グループ
33	夏休みの自由研究はこれで決まり！作ってみよう川柳！～5・7・5を楽しもう～	8/4(金)	10:00～12:00	小4～中学生	○	△	15名	無料	長島 敏子と 公民館登録グループ
34	体験！須磨琴のすてきな音色を響かせよう！	8/7(月)	10:00～12:00	小・中学生	△	△	15名	無料	須磨琴 (公民館登録グループ)
35	体験！キッズイングリッシュ～英語は楽しい！～	8/8(火)	10:00～11:00	小1～4年生	△	△	12名	無料	神戸海星女子学院大学
36	体験！楽しく手話を学ぼう！	8/9(水)	14:00～16:00	小学生	△	△	15名	無料	岡野 美里と 公民館登録グループ
37	夏休みの自由研究はこれで決まり！世界に1つだけのマイバッグ～玉ねぎの皮による草木染～ SDGS	8/18(金)	10:00～12:00	小学生の親子	◎	×	10組20名	1人250円	黒谷 静佳
38	夏休みの自由研究はこれで決まり！絵手紙にチャレンジ！～ヘタでいい ヘタがいい～	8/22(火)	14:30～16:00	小3～中学生	▲	▲	15名	50円	堀内 操と 公民館登録グループ
39	体験！新体操～男の子も女の子も集まれ！～	8/23(水)	10:00～12:00	小学生	△	△	16名	無料	大本 友香と 公民館登録グループ
40	体験！剣道教室	8/23(水)	15:00～17:00	小学生	△	△	20名	無料	須磨剣友会 (公民館登録グループ)

## 東垂水公民館

【問い合わせ・応募先】〒655-0886 神戸市垂水区東垂水1-1-1 Tel.078-753-5025 Fax.078-753-0191

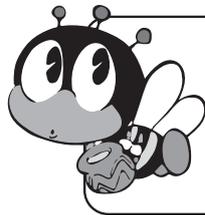
番号	教室名	開催日	時間	対象	保護者	対象未済	定員	教材費	講師名
41	レッツ！スマッシュ バドミントン体験(全3回)	7/24(月)～26(水)	10:30～12:00	小4～6年生	△	△	10名	無料	バドミントン同好会 (公民館登録グループ)
42	夏休みの宿題もバッチリ！理科実験～活性炭空気電池でモーターを回そう～	7/24(月)	10:00～12:00	小4～6年生	△	△	20名	300円	くらりか関西
43	折り紙を楽しもう！	7/27(木)	13:30～15:00	小学生	△	△	20名	無料	馬場 忍
44	体験理科実験～煮干しのお腹から海の世界を考えよう～ SDGS	7/28(金)	10:00～11:30	小4～6年生	△	△	10名	無料	大畑 守男
45	卓球教室～ラケットのもち方からラリーまで～(全3回)	8/1(火)～3(木)	9:00～10:30	小4～6年生	△	△	20名	無料	滝 明子・磯部 妙子と 公民館登録グループ
46	レッツ！ソーイング	8/2(水)	13:00～15:00	小5・6年生	△	△	5名	無料	ソーイング (公民館登録グループ)

## 玉津南公民館

【問い合わせ・応募先】〒651-2126 神戸市西区玉津町上池314 Tel.078-914-4300 Fax.078-914-8277

番号	教室名	開催日	時間	対象	保護者	対象未済	定員	教材費	講師名
47	宿題もバッチリ！陶芸体験をしてみよう	7/24(月)	13:00～15:00	小4～6年生	△	▲	10名	800円	ゆうの会 (公民館登録グループ)
48	フィルムの容器で～輪ざし	7/24(月)	13:00～14:30	小1～3年生	△	△	15名	50円	手芸友の会 (公民館登録グループ)
49	はじめての和太鼓体験①	7/25(火)	9:30～10:30	小1～3年生	△	△	20名	無料	山本 吉輝
50	はじめての和太鼓体験②	7/25(火)	11:00～12:00	小4～6年生	△	△	20名	無料	山本 吉輝
51	夏の思い出 親子で茶道体験教室	7/26(水)	10:00～12:00	小学生と保護者	◎	△	10組	無料	辻 宗依と竹林の友 (公民館登録グループ)
52	切り絵教室～デザインナイフを使って、切り絵色付け作品を作ろう～	7/27(木)	9:30～12:00	小4～6年生	△	△	10名	100円	切り絵同好会 (公民館登録グループ)
53	中華料理のいろいろを作り、アレンジに挑戦	7/28(金)	10:00～12:00	小学生	△	△	20名	700円	パンの花 (公民館登録グループ)
54	本物そっくり！食品サンプルを作ろう①	7/29(土)	10:30～12:00	小学生	▲	▲	24名	500円	神戸市学校給食調理士 山本 美由紀
55	本物そっくり！食品サンプルを作ろう②	7/29(土)	13:30～15:00	小学生	▲	▲	24名	500円	神戸市学校給食調理士 山本 美由紀
56	卓球教室～レッツ！楽しくピンポン！～	7/31(月)・8/3(木)	10:00～12:00	小3～6年生	△	△	24名	無料	王塚台クラブ・幸の会 (公民館登録グループ)
57	レッツ！ソーイング！～ポシェットを作ろう～	7/31(月)	13:00～16:00	小5・6年生	△	△	10名	800円	ソーイングクラブ (公民館登録グループ)
58	バレーボールを体験しよう～いっぱいボールにさわろう～	8/2(水)・8/26(土)	10:00～12:00	小4～6年生	△	△	30名	無料	ワンスモクラブ・スイート (公民館登録グループ)
59	宿題もバッチリ！七宝焼きキーホルダーを作ってみよう	8/3(木)	14:00～15:30	小学生	△	△	20名	700円	ガラスの夢 (公民館登録グループ)
60	声で表現する芸術「詩吟」	8/24(木)	10:00～12:00	小学生	△	△	10名	無料	詩吟友の会 (公民館登録グループ)

# サマースクールの 応募について



公民館サマースクールの申込締切は

## 7月4日(火) 17:00

6月1日(木) 9:00から申込が可能です。

サマースクールはインターネットでの申込となります。



申込は  
PC・スマホ  
から



以下の2つのいずれかの方法で、申込ページから申込。

- ① 左の2次元 (QR) コードから
- ② 「神戸市立公民館 サマースクールインターネット申込」で検索  
(<https://www.city.kobe.lg.jp/a41153/kominkansummerschool.html>)

- ・1教室につき、1申込に限ります。
- ・インターネットでの申込ができない場合は、各館へお問い合わせください。
- ・収集した個人情報、教室の運営以外には利用いたしません。

- ・応募者が多数の場合は抽選になります。応募者が少数の場合は教室を中止することがあります。
- ・教材費が必要な教室がありますので、よくご確認ください。
- ・キャンセルの場合は、必ず応募先の公民館にご連絡ください。
- ・直前または連絡なしのキャンセルは、教材費をいただきます。
- ・複数回開催する教室において欠席された場合、その分の教材費を減額・返金することはできません。
- ・兄弟姉妹が同じ教室に応募する場合は、1申込に全員のお名前をご入力ください。
- ・保護者と対象外の児童・幼児については、「保護者」・「対象未済」欄の印 (◎○△▲×) をよく確認のうえ、それに従ってご応募ください。

- ・「保護者」欄が◎と○の教室は、参加される保護者名も必ずご記入ください。
- ・ご応募された児童・保護者以外は参加できませんので、ご注意ください。
- ・バリアフリーの状況については、各公民館にお問い合わせください。
- ・同一日の時間が重なる教室への応募はできません。
- ・当落結果はメールで通知します。それに伴い、ドメインが @office.city.kobe.lg.jp からのメールが受け取れるよう受信設定してください。
- ・結果通知が教室開催間際になっても届かない場合、応募先の公民館にご連絡ください。



**住之江公民館** 〒658-0053 東灘区住吉宮町2-2-3  
Tel. 822-1300 Fax. 822-7037

住吉  
JR 住吉駅より南へ徒歩約10分  
阪神住吉駅より東へ徒歩約2分

住吉宮町公園 住吉小学校  
住之江公民館 別館

**葺合公民館** 〒651-0081 中央区真砂通2-1-1  
Tel. 232-4026 Fax. 232-4028

三宮 葺合公民館  
三宮 花崎駅前

・阪神春日野道駅より南西へ徒歩約10分  
・三宮駅より南東へ徒歩約15分  
・市バス7系統市民福祉交流センター前下車東へ徒歩約5分

**清風公民館** 〒650-0017 中央区楠町8-10-3  
Tel. 371-3319 Fax. 371-3327

清風公民館 別館  
市立中央図書館 エスカル神戸 宇治川  
大倉山 湊川神社

・市営地下鉄大倉山駅東①出口より北東へ徒歩約5分  
・JR神戸駅より北東へ徒歩約15分  
・高速神戸駅より北東へ徒歩約12分

**長田公民館** 〒653-0004 長田区四番町4-51  
Tel. 575-1374 Fax. 575-1785

長田公民館 別館  
市営地下鉄長田駅東②出口

・高速長田駅より東へ徒歩約8分  
・市営地下鉄長田駅東②出口より徒歩約5分

**南須磨公民館** 〒654-0038 須磨区青葉町2-2-3  
Tel. 735-2770 Fax. 735-2782

南須磨公民館  
鷹取中学校

・JR鷹取駅より南西へ徒歩約7分

**東垂水公民館** 〒655-0886 垂水区東垂水1-1-1  
Tel. 753-5025 Fax. 753-0191

東垂水公民館  
山陽滝の茶屋駅より北西へ徒歩約12分  
垂水駅東口バス停よりバス57系統で約10分

**玉津南公民館** 〒651-2126 西区玉津町上池314  
Tel. 914-4300 Fax. 914-8277

玉津南公民館  
JR明石駅より北西へ徒歩約20分  
JR明石駅より神姫バス約5分

**KOBE 生涯学習パスポート 「マナビ」単位認定制度**  
生涯学習のイメージキャラクター「マナビ」

市内7公民館はじめ、連携施設で対象講座や教室を受講すると、1講座(教室)につき1単位を認定します。自分の学びの記録を残すことができます。詳しくは、各公民館窓口でお問い合わせください。

**神戸生涯学習パスポート 検索**

マナビ 単位認定制度

リサイクル適性(B)  
この印刷物は、板紙へリサイクルできます。

## ④文化スポーツ局中央図書館 事業報告

## 新館の整備状況

### (1) 西図書館の移転開館

- ・開館日 令和4年10月1日(土)
- ・設置場所 西区美賀多台1丁目 なでしこ芸術文化センター  
面積約2,275㎡(共用部を含むと約2,861㎡)
- ・蔵書数 約30万冊(開館時約20万冊)
- ・座席数 最大313席
- ・フロア 1階:児童書コーナー、ボランティア控室  
2階:一般書コーナー、グループ学習室  
3階:書庫(公開・閉架)、学習室、セミナー室
- ・図書館サービス自動化の導入  
WEB 座席予約システム、自動返却機、予約図書受取棚



図書館外観



図書館2階

### (2) 新垂水図書館(日向1丁目4 垂水駅前東広場)

「人と本のみなど～生涯の学びを支える情報拠点～」をコンセプトに整備する。新図書館では市民がゆっくりと本に親しめるよう座席数を増やすなど、居心地のよい滞在型の図書館を目指す。

地下1階は駐輪場、1階は一般車両のロータリー、2階から4階までが新垂水図書館となる。

#### 【今後の予定】

- 令和4～5年度 先行工事、文化財調査、建築工事着手
- 令和7年度中 完成・開館予定



建物外観



2階(一般書フロア)



3階(児童書フロア)



3階屋上(セミナールーム)

### (3)新北図書館

旧北区役所跡地に建設予定の新北文化センター内に整備する。児童館も併設される予定である。令和4年5～6月に「新北文化センター(北図書館・児童館含む)整備基本計画(案)」のパブリックコメントを実施し、7月に「新北文化センター・新北図書館等整備基本計画」策定。

#### 【今後の予定】

令和4～5年度 新北文化センター・新北図書館等の設計、旧区役所解体工事  
 令和6～7年度 建築工事  
 令和7年度中 完成・開館予定

### (4)新三宮図書館

都心・三宮再整備事業の一環として、低層部にバスターミナルが整備される雲井通5丁目地区再開発ビルの9階・10階に本移転する予定。文化・芸術ホール、商業施設・業務施設・バスターミナル等と複合的に再開発するもの。

新三宮図書館の整備コンセプトは「美しい知と情報のゲートウェイ」。



外観完成予想図

#### 【今後の予定】

令和4年度～ 既存のビル(勤労会館)の解体と新築工事(約5年間)  
 令和9年度頃 雲井通5丁目地区再開発ビルの工事完成予定

## 新図書館システム導入による新たなサービスの開始

### 1 新図書館サービスの開始（当初の予定通り）

- ・ 1/31（火）～。名谷図書館のみ 2/1（水）～ ※火曜休館のため。
- ・ WEB からの蔵書検索、予約等は 1/31 午前 9:15 から運用開始。

### 2 システム端末のリニューアル

#### （1）設置箇所

- ・ 全市立図書館 12 館に合計 276 台
- ・ 予約図書受取コーナー（市民図書室、公民館等の有人コーナー）16 か所に合計 17 台
- ・ 予約図書自動受取機（市営地下鉄海岸線 三宮・花時計前駅）はプログラム変更で対応。

#### （2）新端末による機能拡充

- ・ マイナンバーカードとの連携（事前登録が必要）  
図書館カード番号とマイナンバーカード「シリアル番号」を紐付け。
- ・ スマートフォン版図書館カードの導入（事前登録が必要）  
スマートフォン対応型バーコードスキャナーを全端末に導入。
- ・ タッチパネルの導入（蔵書検索機 28 台/全館 60 台 自動貸出機 39 台/全館 39 台。導入率 7 割）

### 3 WEB 申請の促進（紙媒体から電子媒体へ移行。当面は紙媒体と併用）

#### （1）「貸出券申込書」（図書館カード作成の申込書）

- ・ ホームページから WEB 申請が可能。図書館カードの受取り時間が短縮。

#### （2）「ネットワークサービス等利用申込書」（パスワード登録の申込書）

- ・ 新システムでは図書館カードの発行と同時にパスワードを付与。

#### （3）「予約カード」（図書館が所蔵している本を予約する場合の申込書）

- ・ （2）のパスワードを使ってホームページから WEB 予約が可能。  
※未所蔵の本のリクエストや国立国会図書館や他都市図書館からの取寄せは紙媒体を使用。

#### （4）WEB 座席予約（対象館 中央 284 席・東灘 77 席・北神 79 席・名谷 44 席・西 119 席）

- ・ WEB で図書館、日時、座席種類を選択し、来館時に座席場所が任意に指定。1 週間内で 1 席予約。
- ・ 各区の地域図書館は 1/31～、中央図書館は 2/14～（他館の予約状況を見ながら開始）。

### 4 図書館サービスの自動化（人との非接触サービス＝繁忙館が対象。垂水・北・三宮は新館整備時に導入）

#### （1）自動返却機（東灘・灘・北神・名谷・西）

自動返却機への投入冊数だけ新たな貸出が可能。

#### （2）予約図書受取棚（東灘・名谷・西）

予約本がある棚で直接受取り。カウンター経由不用。

### 5 その他

#### （1）WEB 書棚

蔵書検索結果画面に仮想書棚を設け背表紙等を表示（パソコン版検索画面のみ）。

#### （2）貸出履歴の閲覧

希望者が事前登録すれば、登録後の貸出履歴が自分自身で閲覧可能。

#### （3）予約順番の指定

上中下巻や巻数の多い本の受取順を指定。従来は準備ができた本から受取り。

(参 考)

### 1 スマートフォン版図書館カード

K-lib ネット（神戸市立図書館ネットワークサービス）にログインしてバーコードを表示

従来の紙のカード



スマートフォン版カード



### 2 自動返却機

図書を1冊ずつ自動返却機に投入すると、図書に貼付されたICタグをICタグリーダーが読み取ることで仮返却処理を実施。処理済みの冊数分だけ、すぐに新しい図書の貸出が可能。



(名谷図書館自動返却機：斜めからと後ろから)

### 3 予約図書受取棚

予約照会機で、用意できた図書のタイトルや受取棚の棚番号を確認し（レシート印刷）、当該番号の棚から予約図書を自分で取り出して自動貸出機で受取完了。

【セルフ受取棚用レシート】

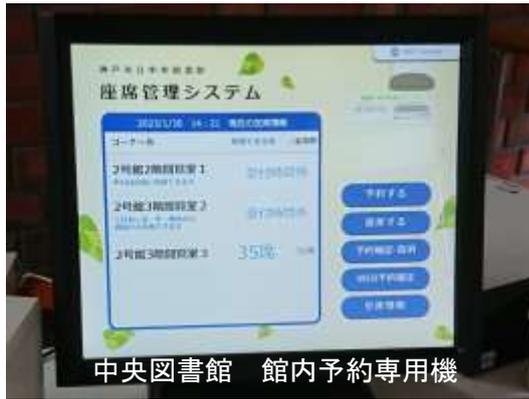


予約照会機



## 4 座席予約システム

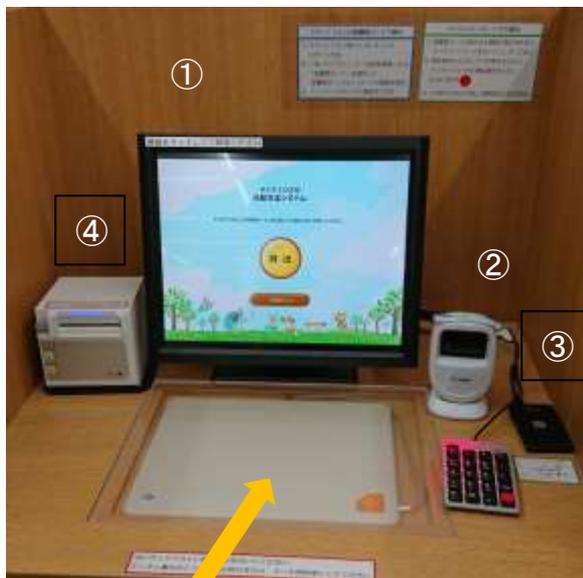
来館しての予約のほか、WEB 予約も可能



WEB 予約画面



## 5 自動貸出機



借りたい本をここに置く

自動貸出機は従来はキーボード操作のみ。  
新システムでは

- ① タッチパネルによる操作
- ② スマートフォン版図書館カードや紙の図書館カードのバーコードをスキャナで読み取り
- ③ マイナンバーカードをカードリーダーで読み取り、事前連携している図書館カード番号を呼び出して、貸出手続き
- ④ 貸出図書の書名、資料番号等をレシート出力

## 6 My ライブラリ

ログイン画面 (パソコン版)



My ライブラリ メニュー画面  
(スマートフォン版)



## 令和5年度 新館整備予算案の概要

(単位:千円)

図書館サービスの充実	832,395
(1) 新垂水図書館の整備	
垂水駅周辺の活性化プランの一環として整備する新垂水図書館の建設工事に着手する。	
・開館: 令和6年度末	
・蔵書数: 約12万冊	
・面積: 約2,200㎡	
(2) 新北図書館の整備	129,400
新北文化センターや新北図書館の令和7年度中の供用開始に向けて、実施設計や旧北区役所の解体工事等を行う。	
・開館: 令和7年度中	
・蔵書数: 約12万冊	
・面積: 約1,500㎡ (共用部を含む)	
(3) 新三宮図書館の整備	30,400
都心・三宮再整備の一環として整備する新たなバスターミナルビルI期内に本移転する新三宮図書館の内装・書架等の設計を行う。	
・開館: 令和9年度頃	
・蔵書数: 10万冊以上	
・面積: 約2,000㎡	

記者資料提供（2023年7月24日）

文化スポーツ局文化交流課 井関・福田 TEL：078-322-6495 FAX：078-322-6137

文化スポーツ局中央図書館 村井・西山 TEL：078-371-3301 FAX：078-371-5046

こども家庭局こども青少年課 堀井・久保田 TEL：078-322-5210 FAX：078-322-6043

## 新北區文化センター・新北図書館等の外観イメージ図ができました

2025年度中の供用開始を目指して、旧北区役所庁舎敷地等に建設予定の「新北區文化センター・新北図書館等」の外観イメージ図ができましたので、お知らせします。

また、近隣住民のみなさんをはじめ、広く市民のみなさんに新しい施設のイメージを持っていただくため、8月中をめどに、建設予定地にこのイメージ図を掲示する予定です。

### 1. 外観イメージ図



※現在設計協議中のため、今後変更となる可能性があります

### 2. 建設計画の概要

- (1) 建設予定地 北区鈴蘭台西町1丁目25（旧北区役所庁舎敷地ほか）
- (2) 規模 地上4階・地下1階建て、延床面積 約8,500㎡
- (3) 主な施設 文化センター（会議室・体育館等）、図書館、児童館・ユースステーション、駐車場

### 3. 今後のスケジュール（予定）

- 2023年度 ・新北區文化センター・新北図書館等の実施設計
- 2023年11月頃 ・旧北区役所庁舎の解体工事開始
- 2024～2025年度 ・新北區文化センター・新北図書館等の建築工事
- 2025年度中 ・新北區文化センター・新北図書館等の供用開始

## 新垂水図書館の整備

### 1. 経緯

垂水駅周辺の活性化策「垂水活性化プラン」（垂水駅東側再整備計画）の一環として、新たに新垂水図書館を整備する。

年度	当初予算（事業） ※図書館のみ	その他の経過
R元年度		12月 市長会見 リノベーション神戸第2弾 名谷・垂水・西神中央駅 整備計画
R2年度	84,000千円 （執行なし、 41,000千円繰越） 基本設計	10月 新垂水図書館基本方針（案）作成。 簡易プロポーザルで事業者決定。設計協議開始 11月 地元団体代表者説明（2回/35人） 11月～12月 基本方針パブコメ（31人、86件） 3月 「新垂水図書館基本方針」策定
R3年度	90,223千円 基本設計・ 実施設計・ 先行工事等 （全額繰越）	7月 垂水駅前東側再整備計画等のチラシ2600枚 を配布 8月 緊急事態宣言の発令により地元説明会中止 10月 説明チラシ（7月配布チラシへの意見につ いて）2600枚を配布 11月 意見回答に関する地元説明会を実施（13日 ～20日）（6回 のべ約70人）
R4年度	180,025千円 （一財59,070千 円） 文化財調査等	実施設計（継続）、図書の購入 7月 先行工事に関する地元説明会・先行工事 10月 文化財調査開始～令和5年7月末まで 令和5年1月 入札公告
R5年度 （予算 案）	832,395千円 （一財245,920千 円） 本体工事等	本体工事、図書の購入 5月 議案提出（5億円以上の請負工事） 7月 文化財調査終了予定 8月～翌1月末 本体工事 令和7年3月 開館予定

### 2. 施設概要

- ・場 所 垂水駅前東広場 東側臨時駐車場部分
- ・開 館 令和6年度末
- ・蔵書数 約12万冊【現8万2千冊】
- ・面 積 約2,200㎡【現686㎡】
- ・座席数 約300席
- ・主な設備 2階 一般書閲覧室、飲食可能エリア、新聞雑誌コーナー、  
対面朗読室、事務室  
3階 児童書閲覧室、グループワーク室、おはなしコーナー、  
スタディルーム、事務室

屋上 セミナールーム、屋上広場

3. 事業費

～R4年度 354,054千円

(内訳) 基本設計費等	44,739千円 (R3 執行額)
実施設計費	103,290千円 (R3 から繰越予算・建設局分含む)
先行工事費	26,000千円 (R3 から繰越予算・建設局分含む)
原付駐輪場仮設費	6,813千円 (R4 予算)
文化財調査費	144,826千円 (R4 予算)

※55,000千円をR5年度に繰越予定

図書購入費等 28,386千円 (R4 予算)

R5年度 832,395千円

(内訳) 本体工事費 807,395千円 (R5 予算・図書館のみ)

図書購入費 25,000千円 (R5 予算)

※本体工事費（債務負担行為）

・R2年度「事前調整会議」の建築予定額22億円（ロータリー・地下駐輪場含む）

・R4年11月本会議に補正予算成立（令和5年1月に入札公告を実施）

・「ゼロ債務負担行為」全体枠26.6億円（ロータリー・地下駐輪場を含む）

※全体の工事費としては、上記に事務料・技術料3,000万円を加えた

約26.9億円を見込む

（本体工事費の内訳）

(R5年度～R6年度)					(千円)
R5～R6年度		事業費	国費	市債	一財
本体工事	図書館	1,816,639	0	1,362,000	454,639
	原付駐輪場	812,361	406,181	365,000	41,181
	交通ロータリー	31,000	15,500	13,000	2,500
合計		2,660,000	421,681	1,740,000	498,320

(R5年度のみ)					(千円)
R5年度のみ		事業費	国費	市債	一財
本体工事	図書館	807,395	0	605,000	202,395
	原付駐輪場	361,050	180,525	162,000	18,525
	交通ロータリー	0	0	0	0
合計		1,168,445	180,525	767,000	220,920

※工事期間18ヵ月中、R5年度は8ヵ月の工事を実施予定（費用の8/18を計上）交通ロータリーの工事はR6年度

(R6年度のみ)		(千円)			
R6年度のみ		事業費	国費	市債	一財
本体工事	図書館	1,009,243	0	757,000	252,243
	原付駐輪場	451,312	225,656	203,000	22,656
	交通ロータリー	31,000	15,500	13,000	2,500
合計		1,491,555	241,156	973,000	277,399

※工事期間18ヵ月中、R6年度は10ヵ月の工事を実施予定（費用の10/18を計上）交通ロータリーの工事はR6年度

#### ※図書館資料購入費（令和5年度予算要求）

新館整備に伴い、蔵書数は約82千冊（R3年度末）から約12万冊を目指す。

@2,500円×10,000冊=2,500万円

（R4～6年度で30,000冊=計7,500万円）

#### 4. 新垂水図書館のコンセプト・基本方針（基本整備計画）

コンセプトは「人と本のみなと生涯の学びを支える情報拠点」

新垂水図書館は、人やものが集まる港のように、本や情報が集まる場所、人が集まり交流する場所となります。誰もが訪れやすく使いやすい場所、居心地よく過ごせる場所、必要な情報を選び取り創造性を育む場所、読書や学習意欲の向上と課題解決を支える場所となり、「心のみなと」として日々の暮らしに寄り添う。

<基本方針>

（1）学びを支援する図書館、（2）子供の成長を見守る図書館

（3）誰もが使いやすい図書館、（4）街に開かれ、交流を促す図書館

<特徴>

- ・ 駅前広場と一体的に整備し、街に開かれた図書館となるよう設計。
- ・ 2階エントランス付近には飲食可能な交流スペースを設けるほか、市民から要望の高い学習スペース、講座等を開催できるセミナー室も設ける予定。
- ・ これまでの垂水図書館にはなかった開放感のある空間とゆったりとした座席など、市民がゆっくりと読書や学習できる滞在型図書館を目指していく。

#### 5. 運営形態

- ・ 指定管理者による運営（令和5年度非公募予定）
- ・ 神戸新聞・TRCグループ（代表者）株式会社 図書館流通センター
- ・ 指定管理期間

**R3年度～R4年度：R2年度に「非公募」選定**

【「非公募」理由】

当初R5年度開館を予定。要求水準は開館前年度のR4年度に作成可能なため、R3年度～4年度の指定管理は非公募とした。

※ 神戸市「公の施設の指定管理者制度運用指針」例外事由⑥「施設の在り方の検討や大規模改修の予定により、現在の指定管理者を継続して指定する（上限2年まで）場合」に該当。

**R5年度：R4年度に「非公募」選定**

【「非公募」理由】

新型コロナウイルス感染拡大により地元説明会が開催できず設計に必要な地盤調査に取り掛かれない期間があったこと等から、開館時期が1年度延期（R6年度末を予定）。要求水準はR5年度に作成不可能なため、R5年度の指定管理は非公募とした。

「非公募」の理由はR3年度～4年度の場合と異なるため、運用指針に抵触しない。

R6年度～10年度（5年間予定）：R5年度に「公募」選定の予定

## 6. 今後の整備スケジュール

令和5年度	指定管理者選定、文化財調査（～R5年7月末）、 建築工事着手（～R7年1月）
令和6年度末	供用開始

## 7. 新垂水図書館・駅前広場の供用開始時期

- ・令和4年7月～9月に先行工事を実施し、10月から文化財調査を実施中（約10カ月の予定）。
- ・文化財調査後に新垂水図書館の本体工事に着手し、令和6年度末に供用開始の予定（交通ロータリー、地下の原動機付自転車駐車場とも）。
- ・垂水駅前東広場は令和6年度末の供用開始の予定。
- ・工事期間中の広場使用を要望した地元団体（布団太鼓関係）には説明済み。

## 8. 駐車場・駐輪場

- ・付置義務駐車台数 3台（うち1台は障害者用）、大型二輪1台、
  - ・付置義務駐輪台数 約60台
- を設置予定。有料を想定。

料金設定は、周辺施設とのバランスも考慮し、今後検討。

※「新垂水図書館基本方針」では付置義務駐車場を4台程度と記載していたが、詳細に設計を進めるなかで面積を精査した結果3台となった。

※周辺料金

○駐車場・・・当該地北側のレバンテ垂水1番館地下、東側のレバンテ垂水2番館地下ともに、機械式で30分200円、1日上限1,000円。

○駐輪場・・・当該地東側の市営日向駐輪場は有人管理で自転車100円/日、原付200円/日。区役所北側の民間駐車場も同料金・機械式で150分まで無料。

(参考：周辺駐車場)



9. 開館後の周辺の駐車場対策（都市局地域整備推進課・確認（22/11/11））

- ・ 神戸市立図書館への来館は公共交通機関での利用をお願いしており、車でご来館される方には図書館近隣の有料駐車場の利用を案内。
- ・ 新垂水図書館跡地にあった臨時駐車場の需要は、垂水駅周辺施設等（レバンテ1・2番街、民間駐車場）の駐車場にて賄えると想定。

【都市局の説明要旨】

- ・ （所管の都市局によると）ロータリー部分にあった臨時駐車場は、駅への送迎用一時停車機能と中長時間利用の駐車という2つの機能を持っていた。
- ・ ①駅への送迎用の一時停車機能  
入庫後10分間の無料措置を取っている。朝夕はこの利用が多い状況だが、これは、新垂水図書館1階に整備するロータリーにより、一時停車機能を確保。
- ・ ②中長時間利用の有料駐車機能  
令和2年9月に都市局が行った現地調査（平日・休日の7時~20時に4回/1時間の調査）では、現在の運用状況では、周辺のレバンテ垂水1番館・2番館駐車場、又民間駐車場を含めて、平日休日とも一定の余剰台数が出るのが予想（従って、新たに代替駐車場を設ける必要はない）と聞いている。
- ・ ウエステ垂水は利用台数が100台分あり、同様の調査は行ってはいないが、当該駐車場を含めるとより余裕があり、需要をまかなえる想定と聞いている。

**新垂水図書館整備事業 概要**  
(参考：令和4年度11月経済港湾委員会 配布資料)

**1. 施設**

開館予定 令和6年度末（令和7年3月）  
延床面積 約4,300平方メートル  
フロア 2～3階・屋上 垂水図書館  
1階 交通ロータリー・附置義務駐車場（3台）  
地下1階 原動機付自転車駐車場・附置義務駐輪場（計約260台）

**2. 図書館の概要**

蔵書数 約12万冊【現約8.2万冊】  
専有面積 約2,200平方メートル【現686平方メートル】  
座席数 約300席（うち自習席約50席）【現68席】  
諸室 2階 一般書閲覧室、飲食可能エリア、新聞雑誌コーナー、  
対面朗読室、事務室  
3階 児童書閲覧室、グループワーク室、おはなしコーナー、  
スタディルーム、事務室  
屋上 セミナールーム、屋上広場

**3. 本体工事（債務負担行為）**

26億6,000万円（うち、図書館18億1,600万円）

**4. スケジュール**

（1）契約

令和5年1月 建築工事の入札公告  
令和5年3月 仮契約  
令和5年5月頃 本契約（請負工事契約の議案提出。議決後、本契約）

（2）工事

令和4年10月～令和5年7月末 埋蔵文化財調査  
令和5年8月～令和7年1月末 建設工事  
令和7年3月 開館

**5. イメージパース**



#### (4) 社会教育委員一名の解嘱・委嘱について

**「社会教育委員」関係法令****○ 社会教育法（抜粋）**

（社会教育委員の設置）

第15条 都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。

2 社会教育委員は、教育委員会が委嘱する。

（社会教育委員の職務）

第17条 社会教育委員は、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため、左の職務を行う。

(1) 社会教育に関する諸計画を立案すること。

(2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。

(3) 前二号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。

3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

（社会教育委員の定数等）

第18条 社会教育委員の定数、任期その他必要な事項は、当該地方公共団体の条例で定める。

**○ 神戸市社会教育委員条例**

（趣旨）

第1条 この条例は、社会教育法（昭和24年法律第207号。以下「法」という。）第18条の規定に基づき、社会教育委員に関し必要な事項を定めるものとする。

（設置）

第2条 法第15条第1項の規定に基づき、本市に社会教育委員（以下「委員」という。）を置く。

（委嘱の基準）

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者その他教育委員会が適当であると認める者の中から教育委員会が委嘱する。

（委員の定数）

第4条 委員の定数は、10名とする。

（委員の任期）

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(解嘱)

第6条 教育委員会は、委員の職務上の義務に違反し、又はその職務を怠ったとき、その他委員たるに適しないと認めるときは、その委員を解職することができる。

(施行細目の委任)

第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

## ○ 神戸市社会教育委員会議規則

第1条 本市社会教育委員の会議(以下会議という。)に関しては、この規則の定めるところによる。

第2条 会議に社会教育委員(以下委員という。)の互選による、議長及び副議長各1名を置く。

第3条 議長及び副議長の任期は委員としての在任期間とする。但し、再選を妨げない。

第4条 議長は、会議を招集し、これを主宰する。

第5条 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるときは、その職務を代行する。

第6条 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことが出来ない。

第7条 議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第8条 議長は、議案その他に関し必要あるときは、委員でない者の出席を求めることが出来る。

第9条 会議に必要な庶務は、教育委員会事務局で行う。

第10条 この規則に定めるものを除くの外必要な事項は、教育長が別にこれを定める。

### 第37期 神戸市社会教育委員名簿 (旧)

(任期：令和4年8月27日～令和6年8月26日)

区分	氏名	役職名	任期
学校教育関係者	ライ ジュウコ 空井 淳子	神戸市立井吹の丘小学校 校長	2期目
社会教育関係者	ヨムラ マサキ 吉村 直朗	神戸市PTA協議会 前会長	2期目
	モリタ ヨウコ 森田 祐子	神戸市婦人団体協議会 副会長	2期目
	ツバサ ヨシノブ 辻 幸志	特定非営利活動法人こうべユースネット 理事長	3期目
	サイトウ ヨウコ 齋藤 優子	生活協同組合コープこうべ 人事部 人材開発 兼 コープこうべ教育学習センター 担当係長	4期目
	イノウエ シンジ 井上 真二	公益財団法人神戸YMCA 総主事	2期目
家庭教育関係者	テラタ キヨ子 寺田 紀代子	兵庫地区青少年育成協議会神戸祇園支部長	2期目
	ヒトウ アヤコ 人羅 亜矢子	特定非営利活動法人KOBEBE子育てネット 理事長	2期目
学識経験のある者	ツバタ イヅ 津田 英二	神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授	1期目
	メグロ ユウヤ 目黒 強	神戸大学大学院人間発達環境学研究科 准教授	3期目

### 第37期 神戸市社会教育委員名簿 (新)

(任期：令和4年8月27日～令和6年8月26日)

区分	氏名	役職名	任期
学校教育関係者	ライ ジュウコ 空井 淳子	神戸市立井吹の丘小学校 校長	2期目
社会教育関係者	ヨムラ マサキ 吉村 直朗	神戸市PTA協議会 前会長	2期目
	モリタ ヨウコ 森田 祐子	神戸市婦人団体協議会 副会長	2期目
	ツバサ ヨシノブ 辻 幸志	特定非営利活動法人こうべユースネット 理事長	3期目
	フジワラ サトシ 藤原 智子	生活協同組合コープこうべ地域活動推進部 統括	1期目
	イノウエ シンジ 井上 真二	公益財団法人神戸YMCA 総主事	2期目
家庭教育関係者	テラタ キヨ子 寺田 紀代子	兵庫地区青少年育成協議会神戸祇園支部長	2期目
	ヒトウ アヤコ 人羅 亜矢子	特定非営利活動法人KOBEBE子育てネット 理事長	2期目
学識経験のある者	ツバタ イヅ 津田 英二	神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授	1期目
	メグロ ユウヤ 目黒 強	神戸大学大学院人間発達環境学研究科 准教授	3期目